

ホームレスの実態に関する全国調査
(東京23区的生活実態調査結果)

令和4年4月
東京都福祉保健局

目 次

第1部 調査の概要

第1章 調査計画の概要	2
第2章 調査結果の概要	2
第3章 主要駅における夜間調査結果の概要	4

第2部 生活実態調査結果

第1章 調査対象者の属性	5
第2章 路上での生活について（問1から問10まで）	7
第3章 路上（野宿）生活までのいきさつ（問11から問20まで）	24
第4章 健康状態（問21から問26まで）	34
第5章 福祉制度（問27から問35まで）	41
第6章 今後の生活について（問36から問39-3まで）	54
第7章 生活歴（問40から問45まで）	63
第8章 その他（問46から問49）	67

第3部 主要駅における夜間調査結果

第1章 夜間調査対象者の属性	70
第2章 夜間調査対象者の路上での生活について	71
第3章 夜間調査対象者の路上（野宿）生活までのいきさつ	80
第4章 夜間調査対象者の福祉制度	82
第5章 夜間調査対象者の今後の生活について	83

第1部 調査の概要

第1章 調査計画の概要

本報告書は、ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法に基づき、おおむね5年ごとに実施されるホームレスの実態に関する全国調査（生活実態調査）について、都が国の委託を受け、令和3年11月に実施した調査結果をまとめたものである。

- 調査対象
東京23区の公園、河川、道路、駅舎その他の施設で起居している者のうち、320人（国が定める報告者数）
※国が定める調査対象自治体は、東京23区、政令指定市及び令和3年1月調査においてホームレスが20人以上確認された市とされたため、都の市町村は対象外
- 調査期間及び時間帯
令和3年11月1日（月曜日）から25日（木曜日）まで
おおむね午前8時から午後5時までの時間帯に実施
- 調査方法
公園や河川などの居住場所を基点として個別面接の方法により実施
- 主要駅における夜間調査
320人のうち、32人については、主要駅（新宿駅、上野駅、渋谷駅及び池袋駅の改札外側と周辺）で夜間（午後10時～翌朝5時）滞在する者を選定し、夜間調査の質問項目を追加して実施

【目標数の各区割当】 ※カッコは主要駅における夜間調査数（内数）

第1ブロック	第2ブロック	第3ブロック	第4ブロック	第5ブロック
千代田 中央 港 新宿 80	文京 台東 北 荒川 42	品川 目黒 大田 世田谷 渋谷 76	中野 杉並 豊島 板橋 練馬 45	墨田 江東 足立 葛飾 江戸川 77
新宿駅 (10)	上野駅 (6)	渋谷駅 (10)	池袋駅 (6)	

ブロックの区分けは、路上生活者対策施設として、東京23区内に5か所設置されている自立支援センターの設置ブロックによる。

第2章 調査結果の概要

(1) 男女構成

男性は95.0%、女性は5.0%となっている。

(2) 年齢階層

平均年齢は 65.1 歳で、上昇傾向にある。65 歳以上の割合は、平成 23 年度は 4 割以下であったが、今回調査では 6 割を超えており、高齢化が進んでいる。

(3) 路上生活の形態（問 1、問 1-1）

9 割以上の者は、寝ている場所がだいたい決まっている。寝ている場所は、「河川」が 32.2%で最も多く、「公園」が 24.3%、「道路」が 18.5%と続いている。

(4) 日中の過ごし方（問 1-3）

「仕事や求職活動をせず、寝ている場所と同じ場所で引き続き過ごしている」は 30.2%、「仕事をしている」は 29.9%であった。仕事又は求職活動をしている者の合計は約 3 割となっている。

(5) 路上生活の期間（問 3）

今回の路上生活期間について、10 年以上の者は全体の 4 割以上となっている。経年変化では、路上生活歴が 10 年以上の割合は増加傾向である。

(6) 仕事と収入の状況（問 6、問 6-1、問 6-2）

仕事をしている者は、約半数の 52.7%である。仕事をしている者の具体的な仕事は、「廃品回収」が 65.5%で最も多い。仕事をしている者の平均月額収入は、約 53,000 円となっている。

(7) 路上生活の直前の職業と雇用形態（問 11、問 11-1）

初めて路上生活をする前に従事していた仕事は、「建設・採掘従事者」が 37.8%、「生産工程従事者」が 13.1%となっている。

初めて路上生活をする前に従事していた仕事について、その時の立場は、「常勤職員・従業員（正社員）」が約半数（48.9%）を占め、「臨時・パート・アルバイト」が 20.3%、「日雇」が 19.0%と続いている。

(8) 路上生活に至った理由（問 17）

今回の路上生活に至った理由は、「倒産や失業」が 21.6%、「病気・けがや高齢で仕事ができなくなった」が 18.1%、「仕事が減った」が 17.5%と、仕事に関するものが上位を占めている。

(9) 健康状態（問 21）

健康状態は、約 6 割の者が「たいへんよい」又は「よい」と回答している。

(10) 福祉制度の利用状況（問 27）

巡回相談員に会ったことがある者は 85.9%にのぼるが、このうち、声掛け等を行った巡回相談員に相談したことがある者は 24.8%となっている。

(11) 今後どのような生活を望むか（問 36）

今後望む生活として、約半数（47.5%）は「今のままでいい」と回答。一方で、「アパートに住み、就職して自活したい」（13.4%）、「アパートで福祉の支援を受けながら、軽い仕事をみつきたい」（11.9%）という者もいる。

(12) 就職活動状況（問 37）

8 割以上が「今も求職活動をしていないし、今後も求職活動をする予定はない」と回答

第3章 主要駅における夜間調査結果の概要

(1) 年齢階層

平均年齢は 63.5 歳となっている。

(2) 日中の過ごし方（問1-3）

「仕事や求職活動をせず、寝ている場所と違う場所で過ごしている」は 43.8%、「仕事や求職活動をせず、寝ている場所と同じ場所で引き続き過ごしている」は 21.9%であった。仕事又は求職活動をしている人は2割以下となっている。

(3) 路上生活の期間（問3）

路上生活期間が 10 年を超える者は 25%となっている。

(4) 仕事と収入の状況（問6、問6-1、問6-2）

仕事をしている者の割合は 25%である。仕事をしている者の平均月額収入は約 48,000 円となっている。

(5) 路上生活に至った理由（問17）

今回の路上生活に至った理由は、「仕事が減った」が 28.1%「倒産や失業」が 21.9%、「人間関係がうまくいかなくて、仕事を辞めた」が 15.6%と、仕事に関するものが上位を占めている。

(6) 福祉制度の利用状況（問27）

巡回相談員に会ったことがある者は 71.9%にのぼるが、このうち、声掛け等を行った巡回相談員に相談したことがある者は 18.8%となっている。

(7) 今後どのような生活を望むか（問36）

今後望む生活として、21.9%は「今のままでいい」と回答。一方で、「アパートに住み、就職して自活したい」（18.8%）、「アパートで福祉の支援を受けながら、軽い仕事をみつきたい」（18.8%）という者もいる。

第2部 生活実態調査結果

第1章 調査対象者の属性

本章では、生活実態調査対象ホームレスの基本的属性を「性別」、「年齢」で表している。

1. 性別

性別は、有効回答数 320 人のうち、男性 304 人（95.0%）、女性 16 人（5.0%）となっている。

性別	人数	回答%
男性	304	95.0
女性	16	5.0
不明	0	0.0
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

2. 年齢

年齢分布は、「70～74 歳」が 79 人（25.2%）で最も多く、次いで「65～69 歳」が 69 人（22.0%）、「60～64 歳」が 42 人（13.4%）であった。65 歳以上の合計は、全体の約 6 割を占めている。有効回答者の平均年齢は、65.1 歳となっている。

年齢分布（5 歳ごと）

	人数	回答%	有効%
29 歳以下	0	0.0	0.0
30～34 歳	2	0.6	0.6
35～39 歳	2	0.6	0.6
40～44 歳	5	1.6	1.6
45～49 歳	18	5.6	5.7
50～54 歳	19	5.9	6.1
55～59 歳	37	11.6	11.8
60～64 歳	42	13.1	13.4
65～69 歳	69	21.6	22.0
70～74 歳	79	24.7	25.2
75～79 歳	30	9.4	9.6
80 歳以上	11	3.4	3.5
有効回答数	314	98.1	100.0
無回答	6	1.9	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（314）に占める割合

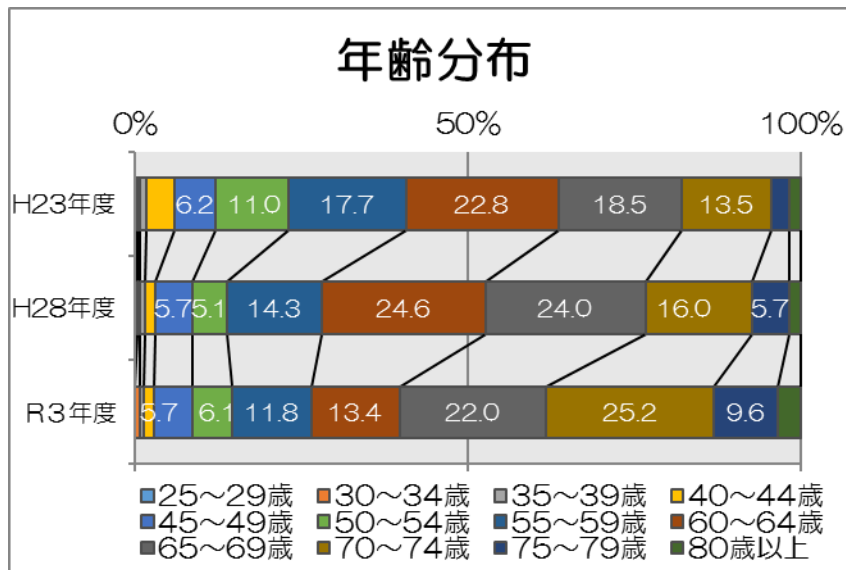
平均年齢の経年変化は、平成 23 年度から上昇傾向にある。

平均年齢の経年変化

H23 年度	H28 年度	R 3 年度
60.9 歳	63.9 歳	65.1 歳

年齢分布の経年変化は、65 歳以上の割合は、平成 23 年度は 4 割以下であったが、今回調査では 6 割を超えており、高齢化が進んでいる。

年齢分布の経年変化



第2章 路上での生活について

1. 路上（野宿）生活の形態

野宿場所については、「決まっている」が292人（91.3%）、「決まっていない」が28人（8.8%）となっている。

問1 寝ている場所はだいたいいつも決まっていますか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1.決まっている	292	91.3
2.決まっていない	28	8.8
無回答	0	0
合計	320	100

問1で寝ている場所が決まっている292人の具体的な場所として、「河川」が94人（32.2%）で最も多く、「公園」が71人（24.3%）、「道路」が54人（18.5%）と続いている。

問1-1 問1で「1. 決まっている」と答えた方について、具体的にはどこですか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1.公園	71	22.2	24.3
2.道路	54	16.9	18.5
3.河川	94	29.4	32.2
4.駅舎	33	10.3	11.3
5.その他	40	12.5	13.7
有効回答数	292	91.3	100
無回答	0	0	0
非該当	28	8.8	
合計	320	100	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合。小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%とならない。

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（292）に占める割合

問1で寝ている場所が決まっていない28人が寝ている場所を変更する理由については、「敷地・建物の管理者から退去を求められるため」が4人（14.3%）となっている。
 なお、「その他」では、「天候によって変えている」や「周辺を移動している」等の回答がある。

問1-2 問1で「2. 決まっていない」と答えた方について、寝ている場所を変更する理由は、どうしてですか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 敷地・建物の管理者から退去を求められるため	4	1.3	14.3
2. 他のホームレス等との関係の悪化	2	0.6	7.1
3. その他	22	6.9	78.6
有効回答数	28	8.8	100.0
無回答	0	0.0	
非該当	292	91.3	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（28）に占める割合

2. 日中の過ごし方

日中の過ごし方については、「仕事や求職活動をせず、寝ている場所と同じ場所で引き続き過ごしている」が96人（30.2%）で最も多く、「仕事をしている」が95人（29.9%）、「仕事や求職活動をせず、寝ている場所と違う場所で過ごしている」が67人（21.1%）と続いている。

仕事又は求職活動をしている者の合計は約3割となっている。

なお、「その他」では、「寝ている」や「散歩」、「缶集め」等の回答がある。

問1-3 日中の過ごし方として最も多いものを1つ選んでください。（都の追加質問）

	人数	回答%	有効%
1. 仕事をしている	95	29.7	29.9
2. 求職活動をしている	6	1.9	1.9
3. 仕事や求職活動をせず、寝ている場所と同じ場所で引き続き過ごしている	96	30.0	30.2
4. 仕事や求職活動をせず、寝ている場所と違う場所で過ごしている	67	20.9	21.1
5. その他	54	16.9	17.0
有効回答数	318	99.4	100.0
無回答	2	0.6	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（318）に占める割合

3. 野宿の形態

路上（野宿）の形態については、「廃材やダンボール、ブルーシートによるテント又は小屋を常設」が144人（45.0%）となっており、全体の半数に近い。

なお、「その他」では、「ベンチを利用している」や「新聞紙を敷く」等の回答がある。

問2 どのようにして寝（野宿）場所をつくっていますか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. 廃材やダンボール、ブルーシートによるテント又は小屋を常設	144	45.0
2. ダンボール等を利用して寝場所を毎晩つくっている	66	20.6
3. 簡単に敷物（寝袋・毛布等）を敷いて寝ている	87	27.2
4. 車中で寝起きしている	0	0.0
5. 寝場所はつukらない	9	2.8
6. その他	14	4.4
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

4. 路上生活期間

今回の路上生活期間は、「10年以上」が139人（43.4%）、「5～10年未満」が63人（19.7%）で、併せて202人（63.1%）と大きい割合になっている。

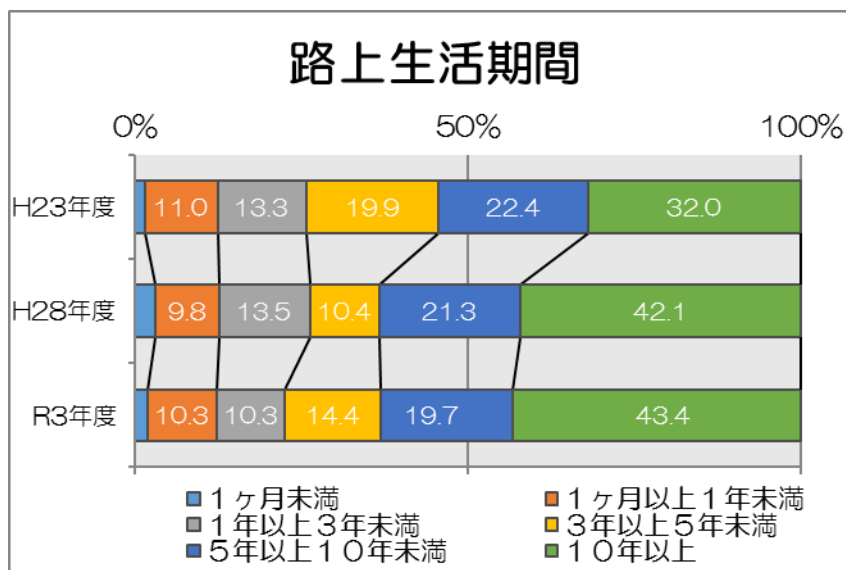
一方、「1ヶ月未満」は6人（1.9%）、「1ヶ月～1年未満」は33人（10.3%）で、併せて39人（12.2%）と少ない割合になっている。

問3 今回の路上（野宿）生活をするようになって、どのくらいたちますか。
（昔のことは除く）

	人数	回答%
1ヶ月未満	6	1.9
1ヶ月～1年未満	33	10.3
1年～3年未満	33	10.3
3年～5年未満	46	14.4
5年～10年未満	63	19.7
10年以上	139	43.4
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

路上生活期間の経年変化は、「10年以上」が平成23年度は32.0%であったが、今回調査では43.4%となっており、増加傾向にある。

路上生活期間の経年変化



5. 路上生活の継続

今回の路上生活の間の居住場所については、「ずっと路上(野宿)生活をしていた」が233人(72.8%)と約7割である。

なお、「その他」では、「アパート」や「知人宅」、「ネットカフェ」等の回答がある。

問4 今回の路上(野宿)生活の間、ずっと継続して路上(野宿)生活が続いていますか。または、どこかに行き来していましたか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. ずっと路上(野宿)生活をしていた	233	72.8
2. 時々、ドヤ、飯場、ホテル等にも泊まっていた	41	12.8
3. 病院に一時的に入っていたことがある	8	2.5
4. 施設に一時的に入っていたことがある	9	2.8
5. 自立支援センターに一時的に入っていたことがある	5	1.6
6. 緊急一時宿泊施設(シェルター)(一時生活支援事業)等に一時的に入っていたことがある	2	0.6
7. その他	22	6.9
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

6. 路上生活歴

初めて路上生活をしたのは、「20年以上」が88人(27.5%)、「10年～15年未満」が62人(19.4%)となっている。

問5 初めて路上（野宿）生活をしたのは、どのくらい前ですか。

	人数	回答%
1ヶ月未満	2	0.6
1ヶ月～1年未満	17	5.4
1年～3年未満	16	5.0
3年～5年未満	32	10.0
5年～10年未満	61	19.1
10年～15年未満	62	19.4
15年～20年未満	42	13.1
20年以上	88	27.5
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

7. 仕事と収入の状況

現在の仕事の有無について、「している」が168人(52.7%)、「していない」が151人(47.3%)となっており、約半数の者が何らかの仕事をしている。

問6 現在収入のある仕事をしていますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. している	168	52.5	52.7
2. していない	151	47.2	47.3
有効回答数	319	99.7	100.0
無回答	1	0.3	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（319）に占める割合

仕事をしている者 168 人の具体的な仕事内容については、「廃品回収」が 110 人（65.5%）と最も多く、「建設日雇」が 14 人（8.3%）、「その他雑業」が 7 人（4.2%）と続いている。

なお、「その他」では、「清掃」や「草刈り」等の回答がある。

問6-1 問6で「1. している」と答えた方について、具体的には、どのような仕事をしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）	人数	回答%	ケース%
1. 建設日雇	14	8.0	8.3
2. 運輸日雇（運搬作業、引越し等）	2	1.1	1.2
3. 廃品回収（アルミ缶・ダンボール・粗大ゴミ・雑誌集め）	110	62.9	65.5
4. その他雑業（看板持ち・チケットならび・雑誌の販売等）	7	4.0	4.2
5. その他	42	24.0	25.0
複数回答の合計数	175	100.0	104.2
有効回答者数	168	52.5	
無回答	0	0.0	
非該当	152	47.5	
合計	320	100.0	

※ 選択肢 1～5 の「回答%」は、複数回答の合計数（175）に占める割合。有効回答者数、無回答及び非該当の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（168）に占める割合。複数回答のため、合計は 100% を超える。

「廃品回収」以外の仕事の紹介先（64 人）については、「知り合いの紹介（顔付け）」が 40 人（62.5%）と最も多くなっている。

なお、「その他」では、「城北労働・福祉センター」や「手配師」等の回答がある。

問6-1-1 問6-1で「廃品回収」以外を答えた方について、その仕事はどこで紹介を受けていますか。あてはまるものをすべて選んでください。（都の追加質問）

（複数回答）	人数	回答%	ケース%
1. ハローワーク	6	9.1	9.4
2. 知り合いの紹介（顔付け）	40	60.6	62.5
3. 雑誌	1	1.5	1.6
4. インターネット・スマホのアプリ	3	4.5	4.7
5. その他	16	24.2	25.0
複数回答の合計数	66	100.0	103.2
有効回答者数	64	20.0	
無回答	0	0.0	
非該当	256	80.0	
合計	320	100.0	

※ 選択肢 1～5 の「回答%」は、複数回答の合計数（66）に占める割合。有効回答者数、無回答及び非該当の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（64）に占める割合。複数回答のため、合計は 100% を超える。

仕事をしている者 168 人の収入月額（ここ3ヶ月くらいの平均）は、「3～5万円未満」が 47 人（29.0%）、「5～10万円未満」が 45 人（27.8%）となっている。

問6-2 問6で「1. している」と答えた方について、仕事による収入は月額どれくらいありますか。（ここ3ヶ月くらいの平均）

	人数	回答%	有効%
1000 円未満	1	0.3	0.6
1000～5000 円未満	4	1.3	2.5
5000～1 万円未満	5	1.6	3.1
1～3万円未満	36	11.3	22.2
3～5万円未満	47	14.7	29.0
5～10万円未満	45	14.1	27.8
10～15万円未満	15	4.7	9.3
15～20万円未満	4	1.3	2.5
20万円以上	5	1.6	3.1
有効回答数	162	50.6	100.0
無回答	6	1.9	
非該当	152	47.5	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（162）に占める割合

仕事をしている者 168 人の収入月額（ここ3ヶ月くらいの平均）の平均額、最高額、最低額は、下記表のとおりである。有効回答者の平均月額収入は約 53,000 円となっている。

平均額	最高額	最低額
52,894 円	250,000 円	253 円

仕事をしている者 168 人の、仕事の内容ごとの収入月額（ここ3ヶ月くらいの平均）については、下記表のとおりである。

問6-2-1 問6で「1. している」と答えた方について、それぞれの仕事毎の収入は月額いくらくらいですか。（ここ3か月くらいの平均）（都の追加質問）

	人数	平均額 円	最高額 円	最低額 円
1. 建設日雇	13	46,923	200,000	10,000
2. 運輸日雇	2	105,000	130,000	80,000
3. 廃品回収	108	16,037	180,000	3,000
4. その他雑業	7	19,571	50,000	1,000
5. その他	40	44,531	250,000	253

8. 仕事以外の収入の状況

この3ヶ月の仕事以外の収入については、「ある」と回答した者が66人(20.6%)と、仕事による収入がある者の割合と比較して低い割合となっている。

問7 ここ3ヶ月間で、仕事以外の収入がありますか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. ある	66	20.6
2. ない	254	79.4
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

仕事以外の具体的な収入については、「年金」が26人(39.4%)、「友人・知人からの支援」が13人(19.7%)となっている。

なお、「その他」では、「通行人からの寄付」や「自販機の小銭収集」等の回答がある。

問7-1 問7で「1. ある」と答えた方について、具体的には、どのような収入ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 年金	26	37.1	39.4
2. 家族からの仕送り	0	0.0	0.0
3. 友人・知人からの支援	13	18.6	19.7
4. その他	31	44.3	47.0
複数回答の合計数	70	100.0	106.1
有効回答者数	66	20.6	
無回答	0	0.0	
非該当	254	79.4	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～4の「回答%」は、複数回答の合計数(70)に占める割合。有効回答者数、無回答及び非該当の「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数(66)に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

仕事以外の平均月額収入は、「1000～5000円未満」が16人（26.2%）、「5～10万円未満」が13人（21.3%）となっている。

問7-2 問7で「1. ある」と答えた方について、仕事以外の収入はここ3ヶ月平均してひと月いくらぐらいになりますか。

	人数	回答%	有効%
1000円未満	3	0.9	4.9
1000～5000円未満	16	5.0	26.2
5000～1万円未満	7	2.2	11.5
1～3万円未満	12	3.8	19.7
3～5万円未満	5	1.6	8.2
5～10万円未満	13	4.1	21.3
10～15万円未満	3	0.9	4.9
15～20万円未満	1	0.3	1.6
20万円以上	1	0.3	1.6
有効回答数	61	19.1	100.0
無回答	5	1.6	
非該当	254	79.4	
合計	320	100.0	

注) 「不明」は、「無回答」として集計している。

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（61）に占める割合

9. 困っていること

困っていることについては、「雨や寒さをしのげず困っている」が80人（25.2%）で最も多く、次いで「食べ物が無いので困っている」、「入浴、洗濯等ができなくて、清潔に保つことができず困っている」がそれぞれ56人（17.6%）と続いている。

なお、「その他」では、「特になし」という趣旨の回答が多い。また、健康や金銭等に関する回答もある。

問8 路上（野宿）生活の中で、困っていることはどのような事ですか。あてはまるものをすべて選んでください。また、特に困っていること（1つ）については、◎をつけてください。

（複数回答）	人数	回答%	ケース%
1. 食べ物が無いので困っている	56	11.2	17.6
2. 寝る場所を探すのに苦労している	38	7.6	11.9
3. 雨や寒さをしのげず困っている	80	16.1	25.2
4. 入浴、洗濯等ができなくて、清潔に保つことができず困っている	56	11.2	17.6
5. ホームレス同士のいざこざで困っている	21	4.2	6.6
6. ホームレス以外の人にいやがらせを受けて困っている	40	8.0	12.6
7. 立ち退くよう言われて困っている	28	5.6	8.8
8. その他	179	35.9	56.3
複数回答の合計数	498	100.0	156.6
有効回答者数	318	99.4	
無回答	2	0.6	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～8の「回答%」は、複数回答の合計数（498）に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（318）に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

問8で特に困っていることは、「雨や寒さをしのげず困っている」が31人（23.0%）、「食べ物が無いので困っている」が25人（18.5%）となっている。

（特に困っていること）	人数	回答%	有効%
1. 食べ物が無いので困っている	25	7.8	18.5
2. 寝る場所を探すのに苦労している	12	3.8	8.9
3. 雨や寒さをしのげず困っている	31	9.7	23.0
4. 入浴、洗濯等ができなくて、清潔に保つことができず困っている	18	5.6	13.3
5. ホームレス同士のいざこざで困っている	2	0.6	1.5
6. ホームレス以外の人にいやがらせを受けて困っている	9	2.8	6.7
7. 立ち退くよう言われて困っている	6	1.9	4.4
8. その他	32	10.0	23.7
有効回答数	135	42.2	100.0
無回答	185	57.8	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（135）に占める割合

10. 周囲とのつながりについて

挨拶をする相手がいるかについて、「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計は、路上生活前では238人（74.9%）であった一方、現在では219人（69.1%）となっており、やや減少している。

問9 周囲とのつながりについて、路上（野宿）生活前と現在の路上（野宿）生活において、あてはまるもの1つを選んでください。

1. 挨拶をする相手がいる

路上（野宿）生活前	人数	回答%	有効%
1. あてはまる	198	61.9	62.3
2. ややあてはまる	40	12.5	12.6
3. あまりあてはまらない	24	7.5	7.5
4. あてはまらない	56	17.5	17.6
有効回答数	318	99.4	100.0
無回答	2	0.6	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（318）に占める割合

現在	人数	回答%	有効%
1. あてはまる	175	54.7	55.2
2. ややあてはまる	44	13.8	13.9
3. あまりあてはまらない	20	6.3	6.3
4. あてはまらない	78	24.4	24.6
有効回答数	317	99.1	100.0
無回答	3	0.9	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（317）に占める割合

世間話をする相手がいるかについて、「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計は、路上生活前では229人(71.8%)であった一方、現在では195人(61.9%)となっており、やや減少している。

2. 世間話をする相手がいる

路上(野宿)生活前	人数	回答%	有効%
1. あてはまる	185	57.8	58.0
2. ややあてはまる	44	13.8	13.8
3. あまりあてはまらない	27	8.4	8.5
4. あてはまらない	63	19.7	19.7
有効回答数	319	99.7	100.0
無回答	1	0.3	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数(319)に占める割合

現在	人数	回答%	有効%
1. あてはまる	151	47.2	47.9
2. ややあてはまる	44	13.8	14.0
3. あまりあてはまらない	31	9.7	9.7
4. あてはまらない	89	27.8	28.3
有効回答数	315	98.4	100.0
無回答	5	1.6	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数(315)に占める割合

困った時に相談できる相手がいるかについて、「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計は、路上生活前では 165 人（51.9%）であった一方、現在では 129 人（40.6%）となっており、やや減少している。

3. 困った時に相談できる相手がいる

路上（野宿）生活前	人数	回答%	有効%
1. あてはまる	119	37.2	37.4
2. ややあてはまる	46	14.4	14.5
3. あまりあてはまらない	37	11.6	11.6
4. あてはまらない	116	36.3	36.5
有効回答数	318	99.4	100.0
無回答	2	0.6	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（318）に占める割合

現在	人数	回答%	有効%
1. あてはまる	89	27.8	28.0
2. ややあてはまる	40	12.5	12.6
3. あまりあてはまらない	30	9.4	9.4
4. あてはまらない	159	49.7	50.0
有効回答数	318	99.4	100.0
無回答	2	0.6	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（318）に占める割合

困った時に助けてくれる相手がいるかについて、「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計は、路上生活前では 163 人（51.2%）であった一方、現在では 134 人（42.2%）となっており、やや減少している。

4. 困った時に助けてくれる相手がいる

路上（野宿）生活前	人数	回答%	有効%
1. あてはまる	114	35.6	35.8
2. ややあてはまる	49	15.3	15.4
3. あまりあてはまらない	33	10.3	10.4
4. あてはまらない	122	38.1	38.4
有効回答数	318	99.4	100.0
無回答	2	0.6	
合計	318	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（318）に占める割合

現在	人数	回答%	有効%
1. あてはまる	81	25.3	25.5
2. ややあてはまる	53	16.6	16.7
3. あまりあてはまらない	28	8.8	8.8
4. あてはまらない	156	48.8	49.1
有効回答数	318	99.4	100.0
無回答	2	0.6	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（318）に占める割合

NPO等の団体が開催する集会・相談会等に参加しているかについて、「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計は、路上生活前では23人(7.2%)であった一方、現在では50人(15.7%)となっており、やや増加している。

5. NPO等の団体が開催する集会・相談会等に参加している

路上(野宿)生活前	人数	回答%	有効%
1. あてはまる	10	3.1	3.1
2. ややあてはまる	13	4.1	4.1
3. あまりあてはまらない	17	5.3	5.3
4. あてはまらない	278	86.9	87.4
有効回答数	318	99.4	100.0
無回答	2	0.6	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数(318)に占める割合

現在	人数	回答%	有効%
1. あてはまる	28	8.8	8.8
2. ややあてはまる	22	6.9	6.9
3. あまりあてはまらない	15	4.7	4.7
4. あてはまらない	254	79.4	79.6
有効回答数	319	99.7	100.0
無回答	1	0.3	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数(319)に占める割合

行政が開催する集会・相談会等に参加しているかについて、「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計は、路上生活前では15人(4.7%)であった一方、現在では22人(6.9%)となっており、やや増加している。

6. 行政が開催する集会・相談会等に参加している

路上(野宿)生活前	人数	回答%	有効%
1. あてはまる	9	2.8	2.8
2. ややあてはまる	6	1.9	1.9
3. あまりあてはまらない	14	4.4	4.4
4. あてはまらない	289	90.3	90.9
有効回答数	318	99.4	100.0
無回答	2	0.6	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数(318)に占める割合

現在	人数	回答%	有効%
1. あてはまる	6	1.9	1.9
2. ややあてはまる	16	5.0	5.0
3. あまりあてはまらない	11	3.4	3.5
4. あてはまらない	285	89.1	89.6
有効回答数	318	99.4	100.0
無回答	2	0.6	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数(318)に占める割合

11. 新型コロナウイルス感染症の影響について

新型コロナウイルス感染症の影響については、「収入が減った」が45人（14.6%）、「食べ物の量が減った、食べ物を得にくくなった」が36人（11.7%）となっている。

なお、「その他」では、「特になし」という趣旨の回答が多い。また、仕事や食事、マスク等に関する回答もある。

問10 路上（野宿）生活の中で、新型コロナウイルス感染症の影響はありましたか。
あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 支援を利用しにくくなった	12	3.2	3.9
2. 寝る場所等を確保しにくくなった	8	2.1	2.6
3. 食べ物の量が減った、食べ物を得にくくなった	36	9.6	11.7
4. 収入が減った	45	12.0	14.6
5. コミュニケーションが減った	11	2.9	3.6
6. 緊張感を感じるようになった	22	5.9	7.1
7. 孤立や不安を感じるようになった	25	6.7	8.1
8. その他	216	57.6	70.1
複数回答の合計数	375	100.0	121.8
有効回答者数	308	96.3	
無回答	12	3.8	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～8の「回答%」は、複数回答の合計数（375）に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（308）に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

第3章 路上（野宿）生活までのいきさつ

1. 路上生活の直前の職業と雇用形態

初めて路上生活をする前に従事していた仕事は、「建設・採掘従事者」が121人（37.8%）、「生産工程従事者」が42人（13.1%）、「運搬・清掃・包装等従事者」が30人（9.4%）となっている。

なお、「その他」では、飲食業や物品販売業等に関する回答がある。

問11 初めて路上（野宿）生活をする前にやっていた仕事は何ですか。1つ選んでください。

	人数	回答%
01. 管理的職業従事者	2	0.6
02. 専門的・技術的職業従事者	7	2.2
03. 事務従事者	11	3.4
04. 販売従事者	15	4.7
05. サービス職業従事者	23	7.2
06. 保安職業従事者	15	4.7
07. 農林漁業従事者	2	0.6
08. 生産工程従事者	42	13.1
09. 輸送、機械運転従事者	14	4.4
10. 建設・採掘従事者	121	37.8
11. 運搬・清掃・包装等従事者	30	9.4
12. その他	30	9.4
13. 職業なし	8	2.5
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

初めて路上生活をする前に従事していた仕事について、その時の立場は、「常勤職員・従業員（正社員）」が152人（48.9%）で約半数を占め、「臨時・パート・アルバイト」が63人（20.3%）、「日雇」が59人（19.0%）と続いている。

問11-1 問11で「01」～「12」と答えた方について、その時の立場は何でしたか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 経営者・会社役員	4	1.3	1.3
2. 自営・家族従業者	16	5.0	5.1
3. 常勤職員・従業員（正社員）	152	47.5	48.9
4. 臨時・パート・アルバイト	63	19.7	20.3
5. 日雇	59	18.4	19.0
6. その他	17	5.3	5.5
有効回答数	311	97.2	100.0
無回答	1	0.3	
非該当	8	2.5	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（311）に占める割合

2. 路上生活直前の居住形態と住居負担

路上生活をする直前の居住形態については、「民間賃貸住宅（アパート・マンション）」が 163 人（50.9%）で半数以上を占めており、「勤め先の社宅や寮」が 45 人（14.1%）、「持家（一戸建て、マンション等）」が 22 人（6.9%）と続いている。

問12 初めて路上（野宿）生活をする前に、住んでいたのはどこですか。1つ選んでください。
（路上（野宿）生活中に一時的に泊まったところは除く。路上（野宿）生活が多くなる前の住居）

	人数	回答%
01. 持家（一戸建て、マンション等）	22	6.9
02. 民間賃貸住宅（アパート・マンション）	163	50.9
03. 公営住宅	8	2.5
04. 公営住宅以外の公共賃貸住宅（都市機構賃貸住宅（旧 公団賃貸住宅）等）	2	0.6
05. 勤め先の社宅や寮	45	14.1
06. 親族・知人宅	14	4.4
07. 住込み先	16	5.0
08. 飯場・作業員宿舎（飯場等の現場に仮設された宿舎）	17	5.3
09. 簡易宿泊所（ドヤ）	17	5.3
10. 24時間営業の飲食店（マンガ喫茶・インターネッ トカフェ等を含む）	3	0.9
11. ビジネスホテル・カプセルホテル・サウナ	7	2.2
12. 病院	0	0.0
13. 更生施設等の福祉施設	1	0.3
14. 自立支援センターやシェルター	0	0.0
15. 矯正施設	0	0.0
16. その他	5	1.6
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

3. 初めて路上生活をする前の所在地

初めて路上生活をする前に住んでいた地域については、「現在路上（野宿）生活をしている都道府県外の市区町村」が146人（46.3%）、「現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の別の市区町村」が106人（33.7%）となっている。

問13 初めて路上（野宿）生活をする前に、住んでいた地域はどこですか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の同じ市区町村	63	19.7	20.0
2. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の別の市区町村	106	33.1	33.7
3. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県外の市区町村	146	45.6	46.3
有効回答数	315	98.4	100.0
無回答	5	1.6	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（315）に占める割合

4. 最も長く就いていた仕事と従業上の地位

最も長く就いていた仕事については、「建設・採掘従事者」が111人（34.7%）と建設業関係が約3割となっており、路上生活直前の職と同様、一番大きい比率であるが、その割合は若干下がっている。続いて、「生産工程従事者」が46人（14.4%）、「サービス職業従事者」が29人（9.1%）となっている。

問14 これまで一番長くやっていた仕事は何ですか。1つ選んでください。

	人数	回答%
01. 管理的職業従事者	2	0.6
02. 専門的・技術的職業従事者	13	4.1
03. 事務従事者	14	4.4
04. 販売従事者	18	5.6
05. サービス職業従事者	29	9.1
06. 保安職業従事者	10	3.1
07. 農林漁業従事者	4	1.3
08. 生産工程従事者	46	14.4
09. 輸送、機械運転従事者	18	5.6
10. 建設・採掘従事者	111	34.7
11. 運搬・清掃・包装等従事者	24	7.5
12. その他	25	7.8
13. 職業なし	6	1.9
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

最も長く就いていた仕事について、その時の立場は、「常勤職員・従業員(正社員)」が185人(58.9%)で約6割を占め、「日雇」が50人(15.9%)、「臨時・パート・アルバイト」が43人(13.7%)と続いている。

問14-1 問14で「01」～「12」と答えた方について、その仕事をしているときは、どのような立場で働いていましたか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 経営者・会社役員	4	1.3	1.3
2. 自営・家族従業者	15	4.7	4.8
3. 常勤職員・従業員(正社員)	185	57.8	58.9
4. 臨時・パート・アルバイト	43	13.4	13.7
5. 日雇	50	15.6	15.9
6. その他	17	5.3	5.4
有効回答数	314	98.1	100.0
無回答	0	0.0	
非該当	6	1.9	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数(314)に占める割合

5. 一番長く就いていた仕事の時の居住形態と住居負担

一番長く就いていた仕事の時の居住形態については、「民間賃貸住宅（アパート・マンション）」が161人（50.5%）で半数以上を占め、「勤め先の社宅や寮」が47人（14.7%）、「持家（一戸建て、マンション等）」が25人（7.8%）と続いている。

問15 これまで一番長く仕事を行っていた際に、住んでいたのはどこですか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
01. 持家（一戸建て、マンション等）	25	7.8	7.8
02. 民間賃貸住宅（アパート・マンション）	161	50.3	50.5
03. 公営住宅	8	2.5	2.5
04. 公営住宅以外の公共賃貸住宅（都市機構賃貸住宅（旧公団賃貸住宅）等）	0	0.0	0.0
05. 勤め先の社宅や寮	47	14.7	14.7
06. 親族・知人宅	12	3.8	3.8
07. 住込み先	16	5.0	5.0
08. 飯場・作業員宿舎（飯場等の現場に仮設された宿舎）	19	5.9	6.0
09. 簡易宿泊所（ドヤ）	14	4.4	4.4
10. 24時間営業の飲食店（マンガ喫茶・インターネットカフェ等を含む）	1	0.3	0.3
11. ビジネスホテル・カプセルホテル・サウナ	4	1.3	1.3
12. その他	12	3.8	3.8
有効回答数	319	99.7	100.0
無回答	1	0.3	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（319）に占める割合

6. 一番長く就いていた仕事の際の所在地

一番長く就いていた仕事の時に住んでいた地域については、「現在路上（野宿）生活をしている都道府県外の市区町村」が145人（46.2%）、「現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の別の市区町村」が106人（33.8%）となっている。

問16 これまで一番長く仕事を行っていた際に、住んでいた地域はどこですか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の同じ市区町村	63	19.7	20.1
2. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の別の市区町村	106	33.1	33.8
3. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県外の市区町村	145	45.3	46.2
有効回答数	314	98.1	100.0
無回答	6	1.9	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（314）に占める割合

7. 路上（野宿）生活になった理由

今回の路上生活に至った理由は、「倒産や失業」が69人（21.6%）、「病気・けがや高齢で仕事ができなくなった」が58人（18.1%）、「仕事が減った」が56人（17.5%）と、仕事に関するものが上位を占めている。

なお、「その他」では、仕事や金銭に関する回答や、「特になし」等の回答がある。

問17 今回の路上（野宿）生活をするようになった主な理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。新型コロナウイルスの感染拡大の影響によるもの（すべて）は◎をつけてください。

（複数回答）	人数	回答%	ケース%
01. 倒産や失業	69	15.8	21.6
02. 仕事が減った	56	12.8	17.5
03. 病気・けがや高齢で仕事ができなくなった	58	13.3	18.1
04. 労働環境が劣悪なため、仕事を辞めた	17	3.9	5.3
05. 人間関係がうまくいなくて、仕事を辞めた	42	9.6	13.1
06. 01, 02, 03, 04, 05以外の理由で収入が減った	7	1.6	2.2
07. 借金取立により家を出た	5	1.1	1.6
08. アパート等の家賃が払えなくなった	42	9.6	13.1
09. 契約期間満了で宿舎を出た	2	0.5	0.6
10. ホテル代、ドヤ代等が払えなくなった	10	2.3	3.1
11. 差し押さえによって立ち退きさせられた	1	0.2	0.3
12. 病院や施設等から出た後行き先がなかった	6	1.4	1.9
13. 家族との離別・死別	18	4.1	5.6
14. 家庭関係の悪化	16	3.7	5.0
15. 飲酒、ギャンブル	17	3.9	5.3
16. その他	70	16.1	21.9
複数回答の合計数	436	100.0	136.3
有効回答者数	320	100.0	
無回答	0	0.0	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～16の「回答%」は、複数回答の合計数（436）に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（320）に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響によるものについては、「仕事が減った」が10人(26.3%)で最も多く、「人間関係がうまくいかなくて、仕事を辞めた」が7人(18.4%)、「倒産や失業」が6人(15.8%)となっている。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響によるもの (複数回答)

	人数	回答%	ケース%
01. 倒産や失業	6	15.4	15.8
02. 仕事が減った	10	25.6	26.3
03. 病気・けがや高齢で仕事ができなくなった	1	2.6	2.6
04. 労働環境が劣悪なため、仕事を辞めた	0	0.0	0.0
05. 人間関係がうまくいかなくて、仕事を辞めた	7	17.9	18.4
06. 01, 02, 03, 04, 05以外の理由で収入が減った	1	2.6	2.6
07. 借金取立により家を出た	0	0.0	0.0
08. アパート等の家賃が払えなくなった	3	7.7	7.9
09. 契約期間満了で宿舎を出た	0	0.0	0.0
10. ホテル代, ドヤ代等が払えなくなった	2	5.1	5.3
11. 差し押さえによって立ち退きさせられた	0	0.0	0.0
12. 病院や施設等から出た後行き先がなかった	0	0.0	0.0
13. 家族との離別・死別	1	2.6	2.6
14. 家庭関係の悪化	1	2.6	2.6
15. 飲酒、ギャンブル	2	5.1	5.3
16. その他	5	12.8	13.2
複数回答の合計数	39	100.0	102.6
有効回答者数	38	11.9	
無回答	282	88.1	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～16の「回答%」は、複数回答の合計数(39)に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数(38)に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

8. 別の場所での路上生活経験

現在の路上生活場所にくる前に、別の場所で路上生活をしていたかについては、「ある」と回答した者が159人(49.7%)、「ない」が161人(50.3%)となっている。

問18 現在の路上(野宿)生活場所にくる前に、別の場所で路上(野宿)生活をしていたことがありますか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. ある	159	49.7
2. ない	161	50.3
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

現在の路上生活場所にくる前に、別の場所で路上生活をしていた方について、その場所については、「現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の別の市区町村」と回答した者が89人（56.3%）と最も多くなっている。

問18-1 問18で「1. ある」と答えた方について、その場所はどこですか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の同じ市区町村	35	10.9	22.2
2. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の別の市区町村	89	27.8	56.3
3. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県外の市区町村	34	10.6	21.5
有効回答数	158	49.4	100.0
無回答	1	0.3	
非該当	161	50.3	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（158）に占める割合

9. 現在の区に来た主な理由

現在の区に来た主な理由については、「以前住んでいたり、仕事先があったり、なじみがある」が81人（25.3%）、「前いた場所に居づらくなった」が50人（15.6%）、「収入を得られるような仕事（アルミ缶、段ボール集め、建設現場での日雇い労働等）がある」が32人（10.0%）となっている。
なお、「その他」では、「知人がいたから」、「特になし」等の回答がある。

問19 現在路上（野宿）生活をしているこの市区町村に来た主な理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。また、特にあてはまるもの（1つ）に◎をつけてください。

（複数回答）	人数	回答%	ケース%
1. 以前住んでいたり、仕事先があったり、なじみがある	81	22.4	25.3
2. 以前の知り合いが誰もいなそうである	14	3.9	4.4
3. 収入を得られるような仕事（アルミ缶、段ボール集め、建設現場での日雇い労働等）がある	32	8.8	10.0
4. ホームレスが多いと聞いた	30	8.3	9.4
5. ホームレスのための施策が充実していると聞いた（施設、住宅、食事券・宿泊券、就労対策、その他）	10	2.8	3.1
6. ボランティア団体等による炊き出しがある	16	4.4	5.0
7. 前いた場所に居づらくなった	50	13.8	15.6
8. その他	129	35.6	40.3
複数回答の合計数	362	100.0	113.1
有効回答者数	320	100.0	
無回答	0	0.0	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～8の「回答%」は、複数回答の合計数（362）に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（320）に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

現在の区に来た理由で特に当てはまる項目については、「以前住んでいたり、仕事があったりで、なじみがある」が43人(27.0%)、「収入を得られるような仕事(アルミ缶、段ボール集め、建設現場での日雇い労働等)がある」が18人(11.3%)、「前いた場所に居づらくなった」が17人(10.7%)となっている。

(特にあてはまるもの)	人数	回答%	有効%
1. 以前住んでいたり、仕事先があったりで、なじみがある	43	13.4	27.0
2. 以前の知り合いが誰もいなそうである	4	1.3	2.5
3. 収入を得られるような仕事(アルミ缶、段ボール集め、建設現場での日雇い労働等)がある	18	5.6	11.3
4. ホームレスが多いと聞いた	7	2.2	4.4
5. ホームレスのための施策が充実していると聞いた(施設、住宅、食事券・宿泊券、就労対策、その他)	4	1.3	2.5
6. ボランティア団体等による炊き出しがある	7	2.2	4.4
7. 前いた場所に居づらくなった	17	5.3	10.7
8. その他	59	18.4	37.1
有効回答数	159	49.7	100.0
無回答	161	50.3	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数(159)に占める割合

10. 特定地域・場所での就労・求職状況

特定地域・場所での就労・求職状況については、「山谷(東京)」が49人(15.3%)で、「なし」は241人(75.3%)となっている。

問20 これまでに東京・山谷、横浜・寿町、大阪・釜ヶ崎、名古屋・笹島等で、仕事をしたり仕事を探したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 山谷(東京)	49	14.0	15.3
2. 寿町	28	8.0	8.8
3. 釜ヶ崎	10	2.9	3.1
4. 笹島	7	2.0	2.2
5. それ以外の山谷、寿町、釜ヶ崎、笹島のような場所(寄せ場)で仕事に就いたり、探したことがある	14	4.0	4.4
6. なし	241	69.1	75.3
複数回答の合計数	349	100.0	109.1
有効回答者数	320	100.0	
無回答	0	0.0	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1~6の「回答%」は、複数回答の合計数(349)に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数(320)に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

第4章 健康状態

1. 健康状態

健康状態は、「たいへんよい」又は「よい」と回答した者の合計が197人（61.6%）と、6割以上を占めている。

問21 現在、健康状態はどうか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. たいへんよい	49	15.3
2. よい	148	46.3
3. あまりよくない	89	27.8
4. よくない	34	10.6
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

健康状態が「あまりよくない」又は「よくない」と回答した者123人のうち、対処方法について、「通院」、「市販薬」と回答した者の合計は44人（35.7%）と3割程度であり、6割以上の者は「何もしていない」と回答

問21-1 問21で「3. あまりよくない」、「4. よくない」と答えた方について、どのような対処をしていますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 通院	19	5.9	15.4
2. 市販薬	25	7.8	20.3
3. 何もしていない	79	24.7	64.2
有効回答数	123	38.4	100.0
無回答	0	0.0	
非該当	197	61.6	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（123）に占める割合

問21-1で「何もしていない」と回答した79人について、何もしていない理由としては、「通院や薬を購入するためのお金がない」が36人（45.6%）、「保険証がない」が32人（40.5%）となっている。

なお、「その他」では、「通院する程ではない」や「特になし」等の回答がある。

問21-2 問21-1で「3. 何もしていない」と答えた方について、何もしていない理由を教えてください。あてはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）	人数	回答%	ケース%
1. 保険証がない	32	27.8	40.5
2. 通院や薬を購入するためのお金がない	36	31.3	45.6
3. 医療機関に行っても相手にしてもらえないと思う	7	6.1	8.9
4. 医師等や薬には頼りたくない	14	12.2	17.7
5. その他	26	22.6	32.9
複数回答の合計数	115	100.0	145.6
有効回答者数	79	38.5	
無回答	0	0.0	
非該当	126	61.5	
合計	205	100.0	

※ 選択肢1～5の「回答%」は、複数回答の合計数（115）に占める割合。有効回答者数、無回答及び非該当の「回答%」は、合計人数（205）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（79）に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

路上生活をしている間の具体的な症状については、「なし」が87人（27.2%）で最も多く、「腰痛」が84人（26.3%）、「歯が悪い」が75人（23.4%）と続いている。

なお、「その他」では、「膝の痛み」や「足の痛み」、「白内障」、「高血圧」等の回答がある。

問22 路上（野宿）生活している間（路上（野宿）生活の長い方はここ1年以内）で、次のような症状がありましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）	人数	回答%	ケース%
01. めまい	36	4.5	11.3
02. しびれ・麻痺	42	5.2	13.1
03. 咳が続く	35	4.4	10.9
04. 微熱がつづく	9	1.1	2.8
05. ひどい下痢が続いた	17	2.1	5.3
06. 皮膚のかゆみや発疹	34	4.2	10.6
07. 目やにが出る・目がかすむ	40	5.0	12.5
08. 食欲不振	14	1.7	4.4
09. 急激にやせた	13	1.6	4.1
10. ひどくだるい	28	3.5	8.8
11. 耳鳴りがひどい	17	2.1	5.3
12. 吐き気・嘔吐	11	1.4	3.4
13. むくみ	21	2.6	6.6
14. 頭痛	28	3.5	8.8
15. 腰痛	84	10.5	26.3
16. 腹痛	28	3.5	8.8
17. 歯が悪い	75	9.4	23.4
18. 体の節々が痛む	48	6.0	15.0
19. よく眠れない日が続いた	52	6.5	16.3
20. 2週間以上毎日のように落ち込んでいた時期があった	12	1.5	3.8
21. その他	71	8.9	22.2
22. なし	87	10.8	27.2
複数回答の合計数	802	100.0	250.6
有効回答者数	320	100.0	
無回答	0	0.0	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～22の「回答%」は、複数回答の合計数（802）に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（320）に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

健康状態が悪い時の相談先については、「どこにも相談していない」が197人（62.5%）と最も多く、次に「福祉事務所に相談」が42人（13.3%）となっている。

なお、「その他」では、「知人」や「救急車」、「病院・診療所」、「城北労働・福祉センター」等の回答がある。

問22-1 健康状態が悪い時にはどちらに相談していますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。（都の追加質問）

	人数	回答%	有効%
1. 福祉事務所に相談	42	13.1	13.3
2. NPO法人等の支援団体に相談	22	6.9	7.0
3. 巡回相談員に相談	24	7.5	7.6
4. その他	30	9.4	9.5
5. どこにも相談していない	197	61.6	62.5
有効回答数	315	98.4	100.0
無回答	5	1.6	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（315）に占める割合

2. 病気の診断歴と入院歴

路上生活をしてから診断された病気については、「高血圧」が 24 人（7.5%）、「歯の病気（虫歯、歯槽膿漏等）」が 12 人（3.8%）となっている。

一方、「病気はない」と回答した者は 76 人（23.8%）、「受診していないので病気かどうかわからない」と回答した者は 162 人（50.8%）となっている。

なお、「その他」では、「がん」や「肺気腫」、「骨折」、「前立腺肥大」等の回答がある。

問23 路上（野宿）生活をしてから、次のような病気であると診断されたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）	人数	回答%	ケース%
01. 高血圧	24	6.8	7.5
02. 胃・十二指腸潰瘍	9	2.5	2.8
03. 糖尿病	10	2.8	3.1
04. 肝炎	2	0.6	0.6
05. ヘルニア（腰痛等）	9	2.5	2.8
06. 皮膚の病気	1	0.3	0.3
07. アルコール依存症	1	0.3	0.3
08. 結核	6	1.7	1.9
09. 歯の病気（虫歯、歯槽膿漏等）	12	3.4	3.8
10. うつ病	0	0.0	0.0
11. その他	43	12.1	13.5
12. 病気はない	76	21.4	23.8
13. 受診していないので病気かどうかわからない	162	45.6	50.8
複数回答の合計数	355	100.0	111.3
有効回答者数	319	99.7	
無回答	1	0.3	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～13の「回答%」は、複数回答の合計数（355）に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（319）に占める割合。複数回答のため、合計は 100%を超える。

路上生活をする前から診断を受けている病気については、「高血圧」が 25 人 (7.8%)、「歯の病気 (虫歯, 歯槽膿漏等)」が 19 人 (5.9%) となっている。

一方、「病気はない」と回答した者は 157 人 (49.1%)、「受診していないので病気かどうかわからない」と回答した者は 43 人 (13.4%) となっている。

なお、「その他」では、「がん」や「脳梗塞」、「リウマチ」、「膝の痛み」等の回答がある。

問24 路上 (野宿) 生活をする前から、次のような病気であると診断されたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
01. 高血圧	25	7.0	7.8
02. 胃・十二指腸潰瘍	17	4.8	5.3
03. 糖尿病	13	3.7	4.1
04. 肝炎	4	1.1	1.3
05. ヘルニア (腰痛等)	18	5.1	5.6
06. 皮膚の病気	0	0.0	0.0
07. アルコール依存症	1	0.3	0.3
08. 結核	2	0.6	0.6
09. 歯の病気 (虫歯, 歯槽膿漏等)	19	5.4	5.9
10. うつ病	1	0.3	0.3
11. その他	55	15.5	17.2
12. 病気はない	157	44.2	49.1
13. 受診していないので病気かどうかわからない	43	12.1	13.4
複数回答の合計数	355	100.0	110.9
有効回答者数	320	100.0	
無回答	0	0.0	
合計	320	100.0	

※ 選択肢 1～13 の「回答%」は、複数回答の合計数 (355) に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数 (320) に占める割合
「ケース%」は、有効回答者数 (320) に占める割合。複数回答のため、合計は 100% を超える。

路上生活をしてからの入院経験については、「ある」が 49 人 (15.3%)、「ない」が 271 人 (84.7%) となっている。

問25 路上 (野宿) 生活をしてから、入院したことはありますか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. ある	49	15.3
2. ない	271	84.7
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

3. 手帳の所持の有無

身体障害者手帳や療育手帳（愛の手帳）、精神障害者保健福祉手帳等の所持状況については、「持っていない」が311人（97.2%）と、9割以上を占めている。

問26 身体障害者手帳や療育手帳（愛の手帳）、精神障害者保健福祉手帳等の障害者の手帳を持っていますか。または持っていましたか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. 今持っている	2	0.6
2. 以前持っていたがなくした	3	0.9
3. 持っていない	311	97.2
4. わからない	4	1.3
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

第5章 福祉制度

1. 福祉制度の利用状況

巡回相談員に会ったことがある者の合計は 274 人（85.9%）にのぼるが、このうち、声掛け等を行った巡回相談員に相談したことがある者は 79 人（24.8%）となっている。

問27 巡回相談員に会ったことはありますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 会ったことがあり、相談した	79	24.7	24.8
2. 会ったことはあるが、相談したことはない	195	60.9	61.1
3. 会ったことはない	45	14.1	14.1
有効回答数	319	99.7	100.0
無回答	1	0.3	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（319）に占める割合

巡回相談員に会ったことがある者 274 人について、巡回相談員に会っている頻度は、「月に1回程度」が 130 人（47.6%）で最も多くなっている。

問27-1 問27で「1. 会ったことがあり、相談した」または「2. 会ったことはあるが、相談したことはない」と答えた方について、どのくらいの頻度で会っていますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 週に1回程度	40	12.5	14.7
2. 月に2～3回程度	42	13.1	15.4
3. 月に1回程度	130	40.6	47.6
4. 半年に2～3回程度	31	9.7	11.4
5. 半年に1回程度	19	5.9	7.0
6. 1年に1回程度	11	3.4	4.0
有効回答数	273	85.3	100.0
無回答	1	0.3	
非該当	46	14.4	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（273）に占める割合

巡回相談員に会ったことがある者 274 人について、ここ 1 年で、以前と比べて相談員に頻繁に会うようになったとは思わないと回答した者が 201 人（73.9%）と、7 割以上を占めている。

問27-2 問27で「1. 会ったことがあり、相談した」または「2. 会ったことはあるが、相談したことはない」と答えた方について、ここ 1 年で、以前と比べて相談員は頻繁に会うようになったと思いますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 思う	71	22.2	26.1
2. 思わない	201	62.8	73.9
有効回答数	272	85.0	100.0
無回答	2	0.6	
非該当	46	14.4	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（272）に占める割合

巡回相談員に相談したことがある者 79 人について、具体的な相談内容は、「健康に関する相談」が 38 人（48.1%）、「住まいに関する相談」が 33 人（41.8%）となっている。

なお、「その他」では、「生活保護」や「食糧支援」、「他の路上生活者のこと」、「世間話」等の回答がある。

問27-3 問27で「1. 会ったことがあり、相談した」と答えた方について、どのような相談をしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）	人数	回答%	ケース%
1. 仕事に関する相談	15	13.3	19.0
2. 住まいに関する相談	33	29.2	41.8
3. 健康に関する相談	38	33.6	48.1
4. 人権に関する相談	2	1.8	2.5
5. お金に関する相談	3	2.7	3.8
6. 1～5以外の暮らしに関する相談	7	6.2	8.9
7. その他	15	13.3	19.0
複数回答の合計数	113	100.0	143.0
有効回答者数	79	24.7	
無回答	0	0.0	
非該当	241	75.3	
合計	320	100.0	

※ 選択肢 1～7 の「回答%」は、複数回答の合計数（113）に占める割合。有効回答者数、無回答及び非該当の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（79）に占める割合。複数回答のため、合計は 100% を超える。

巡回相談員に会ったことがある者 274 人について、自立支援センターやシェルター等の利用を勧められたかを尋ねたところ、「自立支援センターの利用を勧められた」が 135 人（49.8%）と、約5割となっている。

問27-4 問27で「1. 会ったことがあり、相談した」または「2. 会ったことはあるが、相談したことはない」と答えた方について、その際に自立支援センターやシェルター等の利用を勧められましたか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 自立支援センターの利用を勧められた	135	42.2	49.8
2. シェルターの利用を勧められた	20	6.3	7.4
3. その他のサービスの利用を勧められた	34	10.6	12.5
4. 特に勧められなかった	82	25.6	30.3
有効回答数	271	84.7	100.0
無回答	3	0.9	
非該当	46	14.4	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（271）に占める割合

緊急的な一時宿泊場所であるシェルターについて、知っている者は 238 人（74.4%）にのぼるが、このうち、シェルターを利用したことがある者は、41 人（12.8%）となっている。

問28 緊急的な一時宿泊場所としてシェルターや一時生活支援がありますが、この施設の内容を知っていますか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. 知っており、利用したことがある	41	12.8
2. 知っているが、利用したことはない	197	61.6
3. 知らない	82	25.6
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

緊急的な一時宿泊場所であるシェルターを「知っているが、利用したことはない」と回答した者 197 人について、今後シェルターを利用したいと思うと答えた者は 24 人（12.2%）、シェルターを利用したいと思わないと答えた者は 173 人（87.8%）となっている。

問28-1 問28で「2. 知っているが、利用したことはない」と答えた方について、今後シェルターを利用したいと思いますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 思う	24	7.5	12.2
2. 思わない	173	54.1	87.8
有効回答数	197	61.6	100.0
無回答	0	0.0	
非該当	123	38.4	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（197）に占める割合

今後シェルターを利用したいと思わないと回答した者 173 人について、どのようなサービスがあれば利用したいと思いますかと尋ねたところ、「個室（完全個室または間仕切られている個室）」が 62 人（36.3%）となっている。

なお、「その他」では、「特になし」や「利用したいと思わない」という趣旨の回答が多い。また、「アパートに入りたい」等の回答もある。

問28-2 問28-1で「2. 思わない」と答えた方について、どのようなサービスがあれば利用したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 個室（完全個室または間仕切られている個室）	62	30.4	36.3
2. 身体の状態・世帯状況等に応じた機能が備わっている（エレベーター、車いす対応トイレ・浴室の設置、性別・世帯構成に配慮した設計）	11	5.4	6.4
3. 今後の生活・住居の確保等、さまざまな相談ができる	13	6.4	7.6
4. 利用の延長ができる（期限を設けて急かされない）	8	3.9	4.7
5. その他	110	53.9	64.3
複数回答の合計数	204	100.0	119.3
有効回答者数	171	53.4	
無回答	2	0.6	
非該当	147	45.9	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～5の「回答%」は、複数回答の合計数（204）に占める割合。有効回答者数、無回答及び非該当の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（171）に占める割合。複数回答のため、合計は 100%を超える。

自立支援センターについて、知っている者は 246 人（77.1%）にのぼるが、このうち自立支援センターを利用したことがある者は 37 人（11.6%）となっている。

問29 一定期間入所して、食事、健康管理、生活相談や職業相談を受け、就労による自立をするための施設（自立支援センター（一時生活支援））がありますが、この施設の内容を知っていますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 知っており、利用したことがある	37	11.6	11.6
2. 知っているが、利用したことはない	209	65.3	65.5
3. 知らない	73	22.8	22.9
有効回答数	319	99.7	100.0
無回答	1	0.3	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（319）に占める割合

自立支援センターを利用したことがある者 37 人について、退所から路上生活に戻るまでの期間は、「1ヶ月～1年未満」が 17 人（45.9%）、「1ヶ月未満」が 14 人（37.8%）で、併せて 31 人（83.8%）と大きい割合になっている。

問29-1 問29で「1. 知っており、利用したことがある」と答えた方について、退所から路上（野宿）生活に戻るまでの期間はどのくらいでしたか。

	人数	回答%	有効%
1ヶ月未満	14	4.4	37.8
1ヶ月～1年未満	17	5.3	45.9
1年～3年未満	3	0.9	8.1
3年～5年未満	1	0.3	2.7
5年～10年未満	2	0.6	5.4
10年以上	0	0.0	0.0
有効回答数	37	11.6	100.0
無回答	0	0.0	
非該当	283	88.4	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（37）に占める割合

自立支援センターを利用したことがある者 37 人について、退所理由は「期限到来前に規則違反、自主退所、無断退所により退所」が 17 人（45.9%）と最も多くなっている。

なお、「その他」では、人間関係に関する回答等がある。

問29-2 問29で「1. 知っており、利用したことがある」と答えた方について、退所理由は何ですか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 会社の寮、住み込み等による就労退所	4	1.3	10.8
2. アパートを確保しての就労退所	4	1.3	10.8
3. 生活保護の適用による入院、施設入所及びアパート等居宅の確保により退所	3	0.9	8.1
4. 期限到来により退所	5	1.6	13.5
5. 期限到来前に規則違反、自主退所、無断退所により退所	17	5.3	45.9
6. その他	4	1.3	10.8
有効回答数	37	11.6	100.0
無回答	0	0.0	
非該当	283	88.4	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（37）に占める割合

自立支援センターの退所理由が「会社の寮、住み込み等による就労退所」又は「アパートを確保しての就労退所」と回答した者8人について、路上生活に戻った主な理由は、「周囲とのトラブルや仕事になじめない等により、仕事を辞めた」が3人（37.5%）となっている。

なお、「その他」では、「部屋が慣れなかった」や「特になし」等の回答がある。

問29-3 問29-2で「1. 会社の寮、住み込み等による就労退所」または「2. アパートを確保しての就労退所」と答えた方について、路上（野宿）生活に戻った主な理由は何ですか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 病気、けが、高齢等の理由で仕事を解雇された	0	0.0	0.0
2. 仕事の契約期間が満了したが、次の仕事が見つからなかった	1	0.3	12.5
3. 仕事の内容が聞いていたもの（雇用契約）と違い、自ら仕事を辞めた	1	0.3	12.5
4. 周囲とのトラブルや仕事になじめない等により、仕事を辞めた	3	0.9	37.5
5. 生活の面で失敗があった	0	0.0	0.0
6. その他	3	0.9	37.5
有効回答数	8	2.5	100.0
無回答	0	0.0	
非該当	312	97.5	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（8）に占める割合

自立支援センターを「知っているが、利用したことはない」と回答した者 209 人について、今後自立支援センターを利用したいと思うと答えた者は 22 人（10.6%）、自立支援センターを利用したいと思わないと答えた者は 185 人（89.4%）となっている。

問29-4 問29で「2. 知っているが、利用したことはない」と答えた方について、今後自立支援センターを利用したいと思いませんか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 思う	22	6.9	10.6
2. 思わない	185	57.8	89.4
有効回答数	207	64.7	100.0
無回答	2	0.6	
非該当	111	34.7	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（207）に占める割合

今後自立支援センターを利用したいと思わないと回答した者 185 人について、どのようなサービスがあれば利用したいと思いませんかと尋ねたところ、「個室（完全個室または間仕切られている個室）」が 60 人（33.0%）となっている。

なお、「その他」では、「特になし」や「利用したいと思わない」という趣旨の回答が多い。また、「自由に生活ができること」や「アパートのような住居」等の回答もある。

問29-5 問29-4で「2. 思わない」と答えた方について、どのようなサービスがあれば、自立支援センターを利用したいと思いませんか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 個室（完全個室または間仕切られている個室）	60	27.5	33.0
2. 身体の状態・世帯構成等に合った機能が備わっている（エレベーター・車いす対応トイレ・浴室の設置、性別・世帯構成に配慮した設計）	9	4.1	4.9
3. 年齢に関わらず就労先をみつけてくれる	4	1.8	2.2
4. 就労だけではなく、今後の生活・住居の確保等、さまざまな相談ができる	11	5.0	6.0
5. 病気や健康上の不安にも対応してくれる	16	7.3	8.8
6. 利用の延長ができる（期限を設けて急かされない）	9	4.1	4.9
7. その他	109	50.0	59.9
複数回答の合計数	218	100.0	119.8
有効回答者数	182	56.9	
無回答	3	0.9	
非該当	135	42.2	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～7の「回答%」は、複数回答の合計数（218）に占める割合。有効回答者数、無回答及び非該当の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（182）に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

福祉事務所等の公的機関への相談有無について、「ある」が136人（42.6%）、「ない」が183人（57.4%）となっている。

問30 これまで福祉事務所等の公的機関に相談に行ったことがありますか。
1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. ある	136	42.5	42.6
2. ない	183	57.2	57.4
有効回答数	319	99.7	100.0
無回答	1	0.3	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（319）に占める割合

福祉事務所等の公的機関に相談したことがある者136人について、相談内容としては、「生活保護」が52人（38.5%）と最も多く、「病気」が39人（28.9%）、「住む場所」が25人（18.5%）と続いている。

問30-1 問30で「1. ある」と答えた方について、どういう相談をしましたか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 病気	39	12.2	28.9
2. 生活保護	52	16.3	38.5
3. 住む場所	25	7.8	18.5
4. 就職	4	1.3	3.0
5. 借金	0	0.0	0.0
6. その他	15	4.7	11.1
有効回答数	135	42.2	100.0
無回答	1	0.3	
非該当	184	57.5	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（135）に占める割合

生活保護制度の利用状況については、「ある」と回答した者が97人（30.4%）に対して、「ない」と回答した者が213人（66.8%）となっている。

問31 これまで生活保護制度を利用したことがありますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. ある	97	30.3	30.4
2. 相談には行ったが利用したことはない	5	1.6	1.6
3. 相談には行ったが断られた	4	1.3	1.3
4. 相談に行き他の制度を勧められた	0	0.0	0.0
5. ない	213	66.6	66.8
有効回答数	319	99.7	100.0
無回答	1	0.3	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（319）に占める割合

生活保護制度を利用したことがあると回答した者97人について、利用方法は、「宿泊所やドヤ等で生活保護を受けた」と回答した者が41人（42.3%）と最も多く、「病院に入院して生活保護を受けた」、「アパート等で単身で生活保護を受けた」がそれぞれ23人（23.7%）と続いている。

問31-1 問31で「1. ある」と答えた方の利用の方法は次のどれでしたか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 病院に入院して生活保護を受けた	23	19.7	23.7
2. 保護施設等の福祉施設に入所して生活保護を受けた	21	17.9	21.6
3. 宿泊所やドヤ等で生活保護を受けた	41	35.0	42.3
4. アパート等で単身で生活保護を受けた	23	19.7	23.7
5. アパート等で家族と一緒に生活保護を受けた	1	0.9	1.0
6. その他	8	6.8	8.2
複数回答の合計数	117	100.0	120.6
有効回答者数	97	30.3	
無回答	0	0.0	
非該当	223	69.7	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～6の「回答%」は、複数回答の合計数（117）に占める割合。有効回答者数、無回答及び非該当の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（97）に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

生活保護制度の利用について、「相談に行き他の制度を勧められた」と回答した者は0人である。

問31-2 問31で「4. 相談に行き他の制度を勧められた」と答えた方について、勧められたサービスはどのようなサービスでしたか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人数	回答%
1. 公的機関が実施するサービス（シェルター）	0	0.0
2. 公的機関が実施するサービス（自立支援センター）	0	0.0
3. 公的機関が実施するサービス（1、2以外のサービス）	0	0.0
4. NPO法人等の支援団体のサービス	0	0.0
5. その他	0	0.0
複数回答の合計数	0	0.0
有効回答者数	0	0.0
無回答	0	0.0
非該当	320	100.0
合計	320	0.0

生活保護制度を利用したことが「ない」と回答した者 213 人について、理由を尋ねたところ、「生活保護制度を利用したくない」と回答した者が 128 人（60.1%）と最も多くなっている。

なお、「その他」では、「必要性を感じていない」や「特になし」という趣旨の回答が多い。

問31-3 問31で「5. ない」と答えた方について、それはなぜですか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 生活保護制度を知らない	11	3.4	5.2
2. 生活保護制度は知っているが、自分は利用できないと思っている	14	4.4	6.6
3. 生活保護制度を利用したくない	128	40.0	60.1
4. その他	60	18.8	28.2
有効回答数	213	66.6	100.0
無回答	0	0.0	
非該当	107	33.4	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（213）に占める割合

その他のホームレスに対する公的支援（住宅の斡旋、宿泊事業、健康診断、食糧支給、衣類の支給等）を利用したことの有無については、「ある」が90人（28.1%）、「ない」が230人（71.9%）となっている。

問32 その他のホームレスに対する公的支援（住宅の斡旋や宿泊事業、健康診断、食糧支給、衣類の支給等）を利用したことがありますか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. ある	90	28.1
2. ない	230	71.9
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

これまでに利用したことのある民間団体の支援については、「炊きだし」が158人（51.0%）、「衣類・日用品・寝袋等提供」が89人（28.7%）、「巡回・見回り」が85人（27.4%）となっている。
 なお、「その他」では、「特になし」という趣旨の回答が多い。また、「食糧」や「薬」等の回答もある。

問33 これまでにどのような民間団体の支援を利用したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 炊きだし	158	30.7	51.0
2. 配食会・食事会	51	9.9	16.5
3. 生活相談・支援	16	3.1	5.2
4. 就労相談・支援	2	0.4	0.6
5. 宿所提供・シェルター	12	2.3	3.9
6. 衣類・日用品・寝袋等提供	89	17.3	28.7
7. 集いの場・サロン	0	0.0	0.0
8. 巡回・見回り	85	16.5	27.4
9. その他	102	19.8	32.9
複数回答の合計数	515	100.0	166.1
有効回答者数	310	96.9	
無回答	10	3.1	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～9の「回答%」は、複数回答の合計数（515）に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（310）に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

民間団体の炊きだしを利用したことがある者 158 人について、週に何日ぐらい炊きだしを利用するかを尋ねたところ、「1日」が 37 人（24.8%）と最も多くなっている。

問33-1 問33で「1. 炊きだし」と答えた方について、週に何日ぐらい炊きだしを利用しますか。（ここ3か月位の平均）（都の追加質問）

	人数	回答%	有効%
0日	30	9.4	20.1
1日	37	11.6	24.8
2日	25	7.8	16.8
3日	22	6.9	14.8
4日	10	3.1	6.7
5日	10	3.1	6.7
6日	2	0.6	1.3
7日	13	4.1	8.7
有効回答数	149	46.6	100.0
無回答	9	2.8	
非該当	162	50.6	
合計	320	100.0	

注) 週に1日未満は、「0日」として集計

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（149）に占める割合

利用したことがある支援団体について、知ったきっかけは、「口コミ」が 105 人（35.0%）、「炊きだしや夜回りで配られたチラシ等」が 56 人（18.7%）となっている。

なお、「その他」では、「特になし」や「巡回」等の趣旨の回答が多い。また、「やっているのを見かけた」や「知り合い」等の回答もある。

問34 あなたが利用したことのある支援団体について、どこで知りましたか。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 口コミ	105	32.6	35.0
2. 炊きだしや夜回りで配られたチラシ等	56	17.4	18.7
3. ポスター	5	1.6	1.7
4. インターネット	5	1.6	1.7
5. その他	102	31.7	34.0
6. わからない	49	15.2	16.3
複数回答の合計数	322	100.0	107.3
有効回答者数	300	93.8	
無回答	20	6.3	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～6の「回答%」は、複数回答の合計数（322）に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（300）に占める割合。複数回答のため、合計は 100%を超える。

支援団体に限らず、普段どのような媒体から情報を得ているかについては、「新聞、ラジオ」が134人（42.3%）、「口コミ」が124人（39.1%）、「炊きだしや夜回りで配られたチラシ等」が56人（17.7%）となっている。

なお、「その他」では、「特になし」という趣旨の回答が多い。また、「巡回相談員」や「テレビ」等の回答もある。

問35 支援団体に限らず、普段どのような媒体から情報を得ていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 口コミ	124	29.8	39.1
2. 炊きだしや夜回りで配られたチラシ等	56	13.5	17.7
3. ポスター	8	1.9	2.5
4. 行政が配布する資料	11	2.6	3.5
5. 新聞、ラジオ	134	32.2	42.3
6. インターネット	12	2.9	3.8
7. その他	71	17.1	22.4
複数回答の合計数	416	100.0	131.2
有効回答者数	317	99.1	
無回答	3	0.9	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～7の「回答%」は、複数回答の合計数（416）に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（317）に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

第6章 今後の生活について

1. 今後の生活

今後の望む生活について、「今のままでいい（路上（野宿）生活）」が152人（47.5%）と約半数を占めており、「アパートに住み、就職して自活したい」が43人（13.4%）、「アパートで福祉の支援を受けながら、軽い仕事をみつきたい」が38人（11.9%）と続いている。

問36 今後、どのような生活を望んでいますか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. アパートに住み、就職して自活したい	43	13.4
2. 寮付の仕事で自活したい	6	1.9
3. アパートで福祉の支援を受けながら、軽い仕事をみつきたい	38	11.9
4. 就職することはできないので何らかの福祉（生活保護や施設入所等）を利用して生活したい	20	6.3
5. 入院したい	1	0.3
6. 家族の元に戻りたい	3	0.9
7.今のままでいい（路上（野宿）生活）	152	47.5
8. わからない	25	7.8
9. その他	32	10.0
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

今後の生活が「今のままでいい」と回答した者152人について、その理由は、「今の場所になじんでいる」が47人（30.9%）、「アルミ缶、雑誌集め等の都市雑業的な仕事があるので暮らしていける」が35人（23.0%）となっている。

なお、「その他」では、「元気なうちは今のままがいい」や「理由はない」、「人と関わりたくない」等の回答がある。

問36-1 問36で「7.今のままでいい」と答えた方について、それはどうしてですか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. アルミ缶、雑誌集め等の都市雑業的な仕事があるので暮らしていける	35	10.9	23.0
2. 今の場所になじんでいる	47	14.7	30.9
3. 福祉の支援は受けたくない	14	4.4	9.2
4. 今後のことを考えるだけの余裕がない	5	1.6	3.3
5. 支援を受けられるとっていない	1	0.3	0.7
6. その他	50	15.6	32.9
有効回答数	152	47.5	100.0
無回答	0	0.0	
非該当	168	52.5	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（152）に占める割合

2. 求職活動

求職活動については、「今も求職活動をしていないし、今後も求職活動をする予定はない」と回答した者が264人（83.0%）で、8割以上となっている。

問37 現在、就職するための求職活動をしていますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 求職活動をしている	21	6.6	6.6
2. 今は求職活動をしていないが、今後、求職活動をする予定である	33	10.3	10.4
3. 今も求職活動をしていないし、今後も求職活動をする予定はない	264	82.5	83.0
有効回答数	318	99.4	100.0
無回答	2	0.6	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（318）に占める割合

求職活動をしている者21人について、求職活動の方法は、「一般の公共職業安定所（ハローワーク）」が6人（28.6%）で最も多く、「知人・友人等からの情報」が5人（23.8%）、「求人雑誌・新聞」が4人（19.0%）と続いている。

問37-1 問37で「1. 求職活動をしている」と答えた方について、どのように求職活動していますか。あてはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）	人数	回答%	ケース%
1. 一般の公共職業安定所（ハローワーク）	6	25.0	28.6
2. 労働安定所（日雇労働者を主に扱う公共職業安定所）	1	4.2	4.8
3. 求人雑誌・新聞	4	16.7	19.0
4. 知人・友人等からの情報	5	20.8	23.8
5. 直接雇用主に応募	3	12.5	14.3
6. ホームレス就業支援事業推進協議会	0	0.0	0.0
7. NPO団体	0	0.0	0.0
8. 手配師	2	8.3	9.5
9. その他	3	12.5	14.3
複数回答の合計数	24	100.0	114.3
有効回答者数	21	6.6	
無回答	0	0.0	
非該当	299	93.4	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～9の「回答%」は、複数回答の合計数（24）に占める割合。有効回答者数、無回答及び非該当の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（21）に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

求職活動をしていないと回答した者 297 人について、その理由を尋ねたところ、「疾病、障害、病弱、高齢で働けないから」が 107 人 (36.3%)、「今の仕事で満足しているから」が 67 人 (22.7%)、「住居がないと採用されないと思うから」が 41 人 (13.9%) となっている。

なお、「その他」では、「今のままでいい」や「生活できているから」、「年齢的に難しい」等の回答がある。

問37-2 問37で「2. 今は求職活動をしていないが、今後、求職活動をする予定である」または「3. 今も求職活動をしていないし、今後も求職活動をする予定はない」と答えた方について、なぜ求職活動をしていないのですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 今の仕事で満足しているから	67	19.5	22.7
2. 疾病、障害、病弱、高齢で働けないから	107	31.1	36.3
3. 自分の希望する職業を探してもないと思うから	17	4.9	5.8
4. 就職の際の身元保証人がいないと難しいと思うから	23	6.7	7.8
5. 住居がないと採用されないと思うから	41	11.9	13.9
6. その他	89	25.9	30.2
複数回答の合計数	344	100.0	116.6
有効回答者数	295	92.2	
無回答	2	0.6	
非該当	23	7.2	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～6の「回答%」は、複数回答の合計数(344)に占める割合。有効回答者数、無回答及び非該当の「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数(295)に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

問37-2で、「疾病、障害、病弱、高齢で働けないから」、「自分の希望する職業を探してもないと思うから」、「就職の際の身元保証人がいないと難しいと思うから」、「住居がないと採用されないと思うから」と回答した者 147 人について、軽作業への参加意思の有無は、ある者が 56 人 (39.7%)、ない者が 85 人 (60.3%) となっている。

問37-3 問37-2で「2. 疾病、障害、病弱、高齢で働けないから」または「3. 自分の希望する職業を探してもないと思うから」または「4. 就職の際の身元保証人がいないと難しいと思うから」または「5. 住居がないと採用されないと思うから」と答えた方について、生活のリズムをつくるための軽作業を勧められたら参加しますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. はい	56	17.5	39.7
2. いいえ	85	26.6	60.3
有効回答数	141	44.1	100.0
無回答	6	1.9	
非該当	173	54.1	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数(141)に占める割合

求職活動をしている又は今後求職活動をする予定がある者 54 人について、希望している職業は、「運搬・清掃・包装等従事者」と回答した者が 19 人（35.8%）で最も多く、次いで「建設・採掘従事者」13 人（24.5%）となっている。

なお、「その他」では、「軽作業」や「飲食関係」、「造園」等の回答がある。

問37-4 問37で「1. 求職活動をしている」または「2. 今は求職活動をしていないが、今後、求職活動をする予定である」と答えた方について、どのような職業を希望していますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
01. 管理的職業従事者	0	0.0	0.0
02. 専門的・技術的職業従事者	0	0.0	0.0
03. 事務従事者	3	0.9	5.7
04. 販売従事者	3	0.9	5.7
05. サービス職業従事者	4	1.3	7.5
06. 保安職業従事者	2	0.6	3.8
07. 農林漁業従事者	0	0.0	0.0
08. 生産工程従事者	1	0.3	1.9
09. 輸送、機械運転従事者	0	0.0	0.0
10. 建設・採掘従事者	13	4.1	24.5
11. 運搬・清掃・包装等従事者	19	5.9	35.8
12. その他	8	2.5	15.1
有効回答数	53	16.6	100.0
無回答	1	0.3	
非該当	266	83.1	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（53）に占める割合

就職するために望む支援について、「住所を設定する必要があるのでアパートがほしい」が20人(37.7%)、「自分たちにあった仕事先を開拓してほしい」が15人(28.3%)、「就職の際の身元保証の援助をしてほしい」が12人(22.6%)となっている。

一方、「特にない」は19人(35.8%)となっている。

問37-5 就職するためにあなたが望む支援は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. もっと身近に就職の相談や求人情報をみられるようにしてほしい	8	9.2	15.1
2. 職業訓練、職業講習を受けられるようにしてほしい	4	4.6	7.5
3. 自分たちにあった仕事先を開拓してほしい	15	17.2	28.3
4. 事業主のホームレスに対する理解を進めてほしい	7	8.0	13.2
5. 就職の際の身元保証の援助をしてほしい	12	13.8	22.6
6. 住所を設定する必要があるのでアパートがほしい	20	23.0	37.7
7. その他	2	2.3	3.8
8. 特にない	19	21.8	35.8
複数回答の合計数	87	100.0	164.2
有効回答者数	53	16.6	
無回答	1	0.3	
非該当	266	83.1	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～8の「回答%」は、複数回答の合計数(87)に占める割合。有効回答者数、無回答及び非該当の「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数(53)に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

現在取得している有効な免許・資格については、「自動車運転免許（1種、2種、大型）」が27人（9.2%）、「建設関係免許」が17人（5.8%）となっている。

一方、「特にない」は231人（79.1%）となっている。

なお、「その他」では、「フォークリフト」や「玉掛け」等の回答がある。

問38 現在取得している有効な免許・資格をすべて選んでください。

（複数回答）	人数	回答%	ケース%
1. 自動車運転免許（1種、2種、大型）	27	9.0	9.2
2. 建設関係免許	17	5.6	5.8
3. 工場関係免許	4	1.3	1.4
4. 調理免許	5	1.7	1.7
5. パソコン関連資格	2	0.7	0.7
6. ビルメンテナンス関連資格	1	0.3	0.3
7. 福祉関連資格（ホームヘルパー等）	1	0.3	0.3
8. その他	13	4.3	4.5
9. 特にない	231	76.7	79.1
複数回答の合計数	301	100.0	103.1
有効回答者数	292	91.3	
無回答	28	8.8	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～9の「回答%」は、複数回答の合計数（301）に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（292）に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

今後、取得したい免許・資格について、有効回答者 38 人の中では、「自動車運転免許（1種、2種、大型）」が 19 人（50.0%）、「パソコン関連資格」が 7 人（18.4%）、「建設関係免許」4 人（10.5%）となっている。

一方、「特にない」は 7 人（18.4%）となっている。

問38 今後取得してみたいと思うものに◎（あてはまるものすべて）をつけてください。

（複数回答）	人数	回答%	ケース%
1. 自動車運転免許（1種、2種、大型）	19	5.9	50.0
2. 建設関係免許	4	1.3	10.5
3. 工場関係免許	1	0.3	2.6
4. 調理免許	3	0.9	7.9
5. パソコン関連資格	7	2.2	18.4
6. ビルメンテナンス関連資格	3	0.9	7.9
7. 福祉関連資格（ホームヘルパー等）	2	0.6	5.3
8. その他	3	0.9	7.9
9. 特にない	7	2.2	18.4
複数回答の合計数	49	15.3	128.9
有効回答者数	38	11.9	
無回答	282	88.1	
合計	320	100.0	

※ 選択肢 1～9 の「回答%」は、複数回答の合計数（49）に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（38）に占める割合。複数回答のため、合計は 100%を超える。

民間賃貸住宅を探した経験の有無は、ある者が 46 人（14.4%）、ない者が 274 人（85.6%）となっている。

問39 路上（野宿）生活を始めてから、民間賃貸住宅を探した経験はありますか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. ある	46	14.4
2. ない	274	85.6
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

民間賃貸住宅を探した経験のある者 46 人について、探した先については、「不動産店」が 31 人（67.4%）、「福祉事務所や地方公共団体」が 7 人（15.2%）、「友人・知人」が 4 人（8.7%）となっている。

なお、「その他」では、「インターネット」や「チャレンジネット」等の回答がある。

問39-1 問39で「1. ある」と答えた方について、具体的にどこで探しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 不動産店	31	62.0	67.4
2. 自立支援センター	3	6.0	6.5
3. 福祉事務所や地方公共団体	7	14.0	15.2
4. 支援団体	1	2.0	2.2
5. 友人・知人	4	8.0	8.7
6. 雑誌・広告	0	0.0	0.0
7. その他	4	8.0	8.7
複数回答の合計数	50	100.0	108.7
有効回答者数	46	14.4	
無回答	0	0.0	
非該当	274	85.6	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～7の「回答%」は、複数回答の合計数（50）に占める割合。有効回答者数、無回答及び非該当の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（46）に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

設問39-1で、「不動産店」、「自立支援センター」、「福祉事務所や地方公共団体」と回答した者 39人について、民間賃貸住宅に関する情報が得られたかについては、「得られた」が 23 人（59.0%）、「得られなかった」が 16 人（41.0%）となっている。

問39-2 問39-1で「1. 不動産店」または「2. 自立支援センター」もしくは「3. 福祉事務所や地方公共団体」と答えた方について、安い家賃の民間賃貸住宅に関する情報が得られましたか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 得られた	23	7.2	59.0
2. 得られなかった	16	5.0	41.0
有効回答数	39	12.2	100.0
無回答	0	0.0	
非該当	281	87.8	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（39）に占める割合

設問39-1で、「不動産店」、「自立支援センター」、「福祉事務所や地方公共団体」と回答した者39人について、家賃を滞納した場合に家主に立替え払いをする民間の保証会社に関する情報が得られたかについては、「得られた」が14人(35.9%)、「得られなかった」が25人(64.1%)となっている。

問39-3 問39-1で「1. 不動産店」または「2. 自立支援センター」もしくは「3. 福祉事務所や地方公共団体」と答えた方について、家賃を滞納した場合に家主に立替え払いをする民間の保証会社に関する情報が得られましたか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 得られた	14	4.4	35.9
2. 得られなかった	25	7.8	64.1
有効回答数	39	12.2	100.0
無回答	0	0.0	
非該当	281	87.8	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数(39)に占める割合

第7章 生活歴

1. 出身地

出身地については、「現在路上（野宿）生活をしている都道府県内」が65人（20.8%）、「路上（野宿）生活をしている都道府県外」が248人（79.2%）である。

問40 出身地（中学を卒業した時点（卒業していない人は15歳時点）で生活していた場所をいう。）はどこですか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内	65	20.3	20.8
2. 路上（野宿）生活をしている都道府県外	248	77.5	79.2
有効回答数	313	97.8	100.0
無回答	7	2.2	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（313）に占める割合

2. 家族の状況

結婚について、「結婚している」は21人（6.6%）であり、結婚していない者は「離婚・死別」、「未婚」を合わせて298人（93.4%）となっている。

問41 結婚（内縁を含む）はしましたか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 結婚している	21	6.6	6.6
2. 離婚・死別	73	22.8	22.9
3. 未婚	225	70.3	70.5
有効回答数	319	99.7	100.0
無回答	1	0.3	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（319）に占める割合

家族・親族の有無については、「いる」が197人(61.8%)、「いない」が60人(18.8%)、「わからない」が62人(19.4%)となっている。

問42 親や兄弟等の家族・親族はいますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. いる	197	61.6	61.8
2. いない	60	18.8	18.8
3. わからない	62	19.4	19.4
有効回答数	319	99.7	100.0
無回答	1	0.3	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数(319)に占める割合

家族・親族がいる者197人について、この1年間で家族・親族との連絡は、「ある」が31人(15.7%)、「ない」が166人(84.3%)となっている。

問42-1 問42で「1. いる」と答えた方について、この一年間で家族・親族と連絡がありますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. ある	31	9.7	15.7
2. ない	166	51.9	84.3
有効回答数	197	61.6	100.0
無回答	0	0.0	
非該当	123	38.4	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数(197)に占める割合

公的年金の保険料を納付していたことの有無については、「ある」が204人(63.9%)、「ない」が67人(21.0%)となっている。

問43 公的年金の保険料を納付していたことがありますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. ある	204	63.8	63.9
2. ない	67	20.9	21.0
3. わからない	48	15.0	15.0
有効回答数	319	99.7	100.0
無回答	1	0.3	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数(319)に占める割合

金融機関などに借金があることの有無については、「ある」が45人（14.1%）、「ない」が275人（85.9%）となっている。

問44 金融機関や消費者金融等に借金はありますか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. ある	45	14.1
2. ない	275	85.9
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

金融機関や消費者金融等に借金がある者45人について、借金額は、「100万円～300万円未満」が11人（28.9%）、「50万円～100万円未満」、「500万円以上」がそれぞれ8人（21.1%）となっている。

問44-1 問44で「1. ある」と答えた方について、それはいくらくらいですか。

	人数	回答%	有効%
10万円未満	3	0.9	7.9
10万円～50万円未満	6	1.9	15.8
50万円～100万円未満	8	2.5	21.1
100万円～300万円未満	11	3.4	28.9
300万円～500万円未満	2	0.6	5.3
500万円以上	8	2.5	21.1
有効回答数	38	11.9	100.0
無回答	7	2.2	
非該当	275	85.9	
合計	320	100.0	

注) 「数十万」及び「不明」と記載された回答については、「無回答」として集計している。

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（38）に占める割合

最終学歴については、「中学校」が 157 人(49.2%)と約半数を占め、「高校」が 102 人(32.0%)、「大学」が 28 人 (8.8%) と続いている。

問45 最後に出た学校は次のどれですか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 小学校	3	0.9	0.9
2. 中学校	157	49.1	49.2
3. 高校	102	31.9	32.0
4. 短期大学・専門学校	21	6.6	6.6
5. 大学	28	8.8	8.8
6. その他	8	2.5	2.5
有効回答数	319	99.7	100.0
無回答	1	0.3	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（319）に占める割合

第8章 その他

1. 法務省の人権擁護機関に対して相談したい事項

人権問題について相談したい事項は、「近隣住民等とのトラブル」が 20 人 (6.3%)、「通行人からの暴力」が 19 人 (5.9%)、となっている。

一方、「特にない」は 266 人 (83.1%) となっている。

なお、「その他」では、「嫌がらせ」や「盗難被害」等の回答がある。

問46 法務省の人権擁護機関（法務局・人権擁護委員）においては、人権問題についての相談に応じていますが、どのような事項について相談したいですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 近隣住民等とのトラブル	20	6.0	6.3
2. 通行人からの暴力	19	5.7	5.9
3. 債権者等とのトラブル	1	0.3	0.3
4. 家族の問題	5	1.5	1.6
5. その他	21	6.3	6.6
6. 特にない	266	80.1	83.1
複数回答の合計数	332	100.0	103.8
有効回答者数	319	99.7	
無回答	1	0.3	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～6の「回答%」は、複数回答の合計数（332）に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（319）に占める割合。複数回答のため、合計は 100%を超える。

路上生活をしている現在の気持ちについて、「希望を持っている」及び「なんとかなると思っている（少し希望をもっている）」の合計は 162 人 (50.7%) となっている。

一方、「あまり希望をもっていない」及び「悲観している」の合計は 103 人 (32.2%) となっている。

なお、「その他」では、「特になし」という趣旨の回答が多い。また、「路上生活から脱却したい」等の回答もある。

問47 路上（野宿）生活をしている現在の気持ちについて教えてください。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. 希望を持っている	29	9.1
2. なんとかなると思っている（少し希望をもっている）	133	41.6
3. あまり希望をもっていない	77	24.1
4. 悲観している	26	8.1
5. その他	55	17.2
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い受けたいサービスについては、「ワクチンの接種」が70人（22.7%）、「マスクの配布」が63人（20.4%）、「検査（PCR検査等）」が24人（7.8%）となっている。

なお、「その他」では、「特になし」という趣旨の回答が多い。また、新型コロナウイルス感染症に伴う特別定額給付金に関する回答等もある。

問48 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い受けたいサービスはありますか。

あてはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）	人数	回答%	ケース%
1. マスクの配布	63	16.1	20.4
2. 手指消毒等の配布	23	5.9	7.4
3. ワクチンの接種	70	17.9	22.7
4. 検査（PCR検査等）	24	6.1	7.8
5. 医師による問診や診察	18	4.6	5.8
6. 感染症に対する知識	12	3.1	3.9
7. 対面は不安があるため通信手段の確保	7	1.8	2.3
8. その他	175	44.6	56.6
複数回答の合計数	392	100.0	126.9
有効回答者数	309	96.6	
無回答	11	3.4	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～8の「回答%」は、複数回答の合計数（392）に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（309）に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

2. 行政や民間団体への要望・意見

行政や民間団体への要望意見については、有効回答者数 149 人のうち、「住居関連」が 60 人（40.3%）、「その他の生活関連」が 34 人（22.8%）、「食事関連」が 32 人（21.5%）となっている。

問49 行政や民間団体への要望・意見を教えてください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 仕事関連	26	10.7	17.4
2. 住居関連	60	24.7	40.3
3. 健康関連	26	10.7	17.4
4. 食事関連	32	13.2	21.5
5. その他の生活関連	34	14.0	22.8
6. その他	65	26.7	43.6
複数回答の合計数	243	100.0	163.1
有効回答者数	149	46.6	
無回答	171	53.4	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1～6の「回答%」は、複数回答の合計数（242）に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（149）に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

「仕事関連」では、「仕事があれば紹介してほしい」、「仕事が欲しい」、「働くつもりはない」等の回答がある。

「住居関連」では、「アパートに住みたい」、「寝場所の提供してほしい」、「個室の提供を得たい」等の回答がある。

「健康関連」では、「病院の受診がしたい」、「巡回相談（問診）があればしたい」、「健康診断を受けたい」等の回答がある。

「食事関連」では、「炊き出しの数を増やして欲しい」、「もらえるものがあれば欲しい」、「毎日食事がしたい」、「もっと充実した食生活を希望」、「寒いときは温かい食べ物が欲しい」等の回答がある。

「その他の生活関連」では、「衣類の支援」、「風呂に入りたい」等の回答がある。

「その他」では、「期待していない」、「行政にいろいろと言いたいことがある」等の回答がある。

第3部 主要駅における夜間調査結果

第1章 夜間調査対象者の属性

本章では、夜間調査対象者（32人）の基本的属性を「年齢」で表している。
なお、夜間調査対象者32人の性別は、全員男性であった。

1. 年齢

年齢分布は、「70～74歳」が11人（34.4%）で最も多く、次いで、「65～69歳」が6人（18.8%）、
「60～64歳」が5人（15.6%）であった。65歳以上の合計は、全体の56.3%を占めている。
有効回答者の平均年齢は63.5歳となっている。

年齢分布（5歳ごと）

	人数	回答%
29歳以下	0	0.0
30～34歳	0	0.0
35～39歳	1	3.1
40～44歳	0	0.0
45～49歳	3	9.4
50～54歳	2	6.3
55～59歳	3	9.4
60～64歳	5	15.6
65～69歳	6	18.8
70～74歳	11	34.4
75～79歳	1	3.1
80歳以上	0	0.0
有効回答数	32	100.0
無回答	0	0.0
合計	32	100.0

第2章 夜間調査対象者の路上での生活について

1. 路上（野宿）生活の形態

駅舎に寝泊まりに来ると回答した 17 人について、その理由は「他の場所に比べて安全だから」が 7 人（41.2%）、「自分以外にも寝泊まりしている人がたくさんいるから」が 6 人（35.3%）、「民間団体等の支援を利用できそうだから」が 2 人（11.8%）となっている。

なお、「その他」では、「雨風をしのげるから」や「交通の便が良いから」、「他に行くところがない」等の回答がある。

問1-1-1 問1-1で「4. 駅舎」と答えた方について、この場所に寝泊まりに来る理由はどうしてですか。あてはまるものをすべて選んでください。（主要駅における夜間調査）

（複数回答）	人数	回答%	ケース%
1. 他の場所に比べて安全だから	7	26.9	41.2
2. 自分以外にも寝泊まりしている人がたくさんいるから	6	23.1	35.3
3. 仕事に行くのに便利な場所だから	0	0.0	0.0
4. 民間団体等の支援を利用できそうだから	2	7.7	11.8
5. その他	11	42.3	64.7
複数回答の合計数	26	100.0	152.9
有効回答者数	17	53.1	
無回答	0	0.0	
非該当	15	46.9	
合計	32	100.0	

※ 選択肢1～5の「回答%」は、複数回答の合計数（26）に占める割合。有効回答者数、無回答及び非該当の「回答%」は、合計人数（32）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（17）に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

駅に何時頃に来て何時まで寝泊まりしているかについて、24 時間滞在しているのは5人となっている。また、行き来をしている者については、来る時間は「午後5時」が4人で最も多くなっており、帰る時間は「午前4時」が7人で最も多くなっている。

問1-1-2 何時頃にこの場所に来て何時まで寝泊まりしていますか。
(主要駅における夜間調査)

		(時)																							
		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6	7
24時間いる	5人																								
8時～17時	1人																								
10時～17時	1人																								
16時～21時	1人																								
16時～7時	1人																								
17時～4時	2人																								
17時～5時	2人																								
18時～3時	1人																								
18時～4時	1人																								
18時～7時	1人																								
19時～6時	1人																								
20時～4時	1人																								
20時～6時	1人																								
21時～0時	1人																								
21時～5時	1人																								
21時～7時	1人																								
22時～5時	1人																								
22時～6時	1人																								
22時～7時	1人																								
23時～4時	1人																								
23時～6時	1人																								
0時～4時	2人																								
0時～6時	1人																								
4時～8時	1人																								
有効回答数	31人																								
無回答	1人																								
合計	32人																								

※ 来る時間又は帰る時間が日によって異なる者については、最も早く来る時間又は最も遅く帰る時間を記載

2. 日中の過ごし方

日中の過ごし方については、「仕事や求職活動をせず、寝ている場所と違う場所で過ごしている」が14人(43.8%)で最も多く、「仕事や求職活動をせず、寝ている場所と同じ場所で引き続き過ごしている」が7人(21.9%)、「仕事をしている」が4人(12.5%)と続いており、仕事又は求職活動をしている者の合計は2割未満となっている。

なお、「その他」では、「アルミ缶回収」や「本を読む」、「街中で時間をつぶしたり、寝ている」等の回答がある。

問1-3 日中の過ごし方として最も多いものを1つ選んでください。(都の追加質問)

	人数	回答%
1. 仕事をしている	4	12.5
2. 求職活動をしている	2	6.3
3. 仕事や求職活動をせず、寝ている場所と同じ場所で引き続き過ごしている	7	21.9
4. 仕事や求職活動をせず、寝ている場所と違う場所で過ごしている	14	43.8
5. その他	5	15.6
有効回答数	32	100.0
無回答	0	0.0
合計	32	100.0

3. 路上生活期間

今回の路上生活期間については、「10年以上」が8人(25.0%)、「5~10年未満」が7人(21.9%)で、併せて15人(46.9%)となっている。

一方、「1ヶ月未満」は3人(9.4%)、「1ヶ月~1年未満」は5人(15.6%)で、併せて8人(25.0%)となっている。

問3 今回の路上(野宿)生活をするようになって、どのくらいたちますか。(昔のことは除く)

	人数	回答%
1ヶ月未満	3	9.4
1ヶ月~1年未満	5	15.6
1年~3年未満	5	15.6
3年~5年未満	4	12.5
5年~10年未満	7	21.9
10年以上	8	25.0
有効回答数	32	100.0
無回答	0	0.0
合計	32	100.0

4. 路上生活の継続

今回の路上生活の間の居住場所については、「ずっと路上(野宿)生活をしていた」が19人(59.4%)と最も多く、「時々、ドヤ、飯場、ホテル等にも泊まっていた」が8人(25.0%)と続いている。

問4 今回の路上(野宿)生活の間、ずっと継続して路上(野宿)生活が続いていますか。または、どこかで行き来していましたか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. ずっと路上(野宿)生活をしていた	19	59.4
2. 時々、ドヤ、飯場、ホテル等にも泊まっていた	8	25.0
3. 病院に一時的に入っていたことがある	2	6.3
4. 施設に一時的に入っていたことがある	2	6.3
5. 自立支援センターに一時的に入っていたことがある	1	3.1
6. 緊急一時宿泊施設(シェルター)(一時生活支援事業)等に一時的に入っていたことがある	0	0.0
7. その他	0	0.0
有効回答数	32	100.0
無回答	0	0.0
合計	32	100.0

夜間に駅舎等(路上)で寝泊まりする頻度については、「週に5日以上」が27人(84.4%)と8割以上を占めている。

問4-1 現在、夜間に駅舎等(路上)で寝泊まりする頻度はどのくらいですか。1つ選んでください。(主要駅における夜間調査)

	人数	回答%
1. 週に5日以上	27	84.4
2. 週に3~4日程度	3	9.4
3. 週に1~2日程度	2	6.3
4. 月に数日程度	0	0.0
有効回答数	32	100.0
無回答	0	0.0
合計	32	100.0

路上以外に寝泊まりする場所については、「路上以外にはない」が21人（65.6%）と最も多く、「インターネットカフェ・マンガ喫茶」が5人（15.6%）と続いている。

なお、「その他」では、「駅前」や「公共施設」等の趣旨の回答がある。

問4-2 路上以外に寝泊まりするためにどのような場所を利用していますか。あてはまるものをすべて選んでください。また、その中で最も多く利用している場所（1か所）には、◎をつけてください。（主要駅における夜間調査）

（複数回答）	人数	回答%	ケース%
01. ビジネスホテル・旅館	0	0.0	0.0
02. カプセルホテル	1	2.9	3.1
03. 簡易宿泊所（ドヤ）	1	2.9	3.1
04. インターネットカフェ・マンガ喫茶	5	14.7	15.6
05. サウナ	1	2.9	3.1
06. カラオケ店	0	0.0	0.0
07. ファーストフード店	1	2.9	3.1
08. その他の飲食店	0	0.0	0.0
09. 友人の家などに泊めてもらう	1	2.9	3.1
10. 夜は起きていて昼に図書館などで寝る	0	0.0	0.0
11. その他	3	8.8	9.4
12. 路上以外にはない	21	61.8	65.6
複数回答の合計数	34	100.0	106.3
有効回答者数	32	100.0	
無回答	0	0.0	
合計	32	100.0	

※ 選択肢1～12の「回答%」は、複数回答の合計数（34）に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数（32）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（32）に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

最も多く利用している場所については、有効回答者 15 人のうち、「路上以外にはない」が9人（60.0%）と最も多く、「インターネットカフェ・マンガ喫茶」が3人（20.0%）と続いている。なお、「その他」では、「公共施設」という趣旨の回答がある。

（最も多く利用している場所）	人数	回答%	有効%
01. ビジネスホテル・旅館	0	0.0	0.0
02. カプセルホテル	0	0.0	0.0
03. 簡易宿泊所（ドヤ）	1	3.1	6.7
04. インターネットカフェ・マンガ喫茶	3	9.4	20.0
05. サウナ	1	3.1	6.7
06. カラオケ店	0	0.0	0.0
07. ファーストフード店	0	0.0	0.0
08. その他の飲食店	0	0.0	0.0
09. 友人の家などに泊めてもらう	0	0.0	0.0
10. 夜は起きていて昼に図書館などで寝る	0	0.0	0.0
11. その他	1	3.1	6.7
12. 路上以外にはない	9	28.1	60.0
有効回答数	15	46.9	
無回答	17	53.1	
合計	32	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（32）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（15）に占める割合

5. 仕事と収入の状況

現在の仕事の有無について、「している」が8人（25.0%）、「していない」が24人（75.0%）となっている。

問6 現在収入のある仕事をしていますか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1.している	8	25.0
2.していない	24	75.0
有効回答数	32	100.0
無回答	0	0.0
合計	32	100.0

仕事をしている者8人の具体的な仕事内容については、「廃品回収」、「建設日雇」がそれぞれ2人（25.0%）となっている。

なお、「その他」では、「警備」や「清掃」等の趣旨の回答がある。

問6-1 問6で「1.している」と答えた方について、具体的には、どのような仕事をしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1.建設日雇	2	25.0	25.0
2.運輸日雇（運搬作業、引越し等）	0	0.0	0.0
3.廃品回収（アルミ缶・ダンボール・粗大ゴミ・雑誌集め）	2	25.0	25.0
4.その他雑業（看板持ち・チケットならび・雑誌の販売等）	1	12.5	12.5
5.その他	3	37.5	37.5
複数回答の合計数	8	100.0	100.0
有効回答者数	8	25.0	
無回答	0	0.0	
非該当	24	75.0	
合計	32	100.0	

※ 選択肢1～5の「回答%」は、複数回答の合計数（8）に占める割合。有効回答者数、無回答及び非該当の「回答%」は、合計人数（32）に占める割合
「ケース%」は、有効回答者数（8）に占める割合

仕事をしている者8人の現在の収入月額（ここ3ヶ月くらいの平均）については、「1～3万円未満」が4人（50.0%）、「3～5万円未満」が2人（25.0%）となっている。

問6-2 問6で「1.している」と答えた方について、仕事による収入は月額どれくらいありますか。（ここ3ヶ月くらいの平均）

	人数	回答%	有効%
1000円未満	0	0.0	0.0
1000～5000円未満	0	0.0	0.0
5000～1万円未満	0	0.0	0.0
1～3万円未満	4	12.5	50.0
3～5万円未満	2	6.3	25.0
5～10万円未満	1	3.1	12.5
10～15万円未満	0	0.0	0.0
15～20万円未満	1	3.1	12.5
20万円以上	0	0.0	0.0
有効回答数	8	25.0	100.0
無回答	0	0.0	
非該当	24	75.0	
合計	32	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（32）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（8）に占める割合

有効回答者8人の平均月額収入は48,375円であった。

平均額	最高額	最低額
48,375円	150,000円	20,000円

6. 困っていること

困っていることについては、「雨や寒さをしのげず困っている」が10人(32.3%)で最も多く、「食べ物がないので困っている」が9人(29.0%)、「入浴、洗濯等ができなくて、清潔に保つことができず困っている」が7人(22.6%)と続いている。

なお、「その他」では、「特になし」という趣旨の回答が多い。また、金銭や病気等に関する回答もある。

問8 路上(野宿)生活の中で、困っていることはどのような事ですか。あてはまるものをすべて選んでください。また、特に困っていること(1つ)については、◎をつけてください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 食べ物がないので困っている	9	17.3	29.0
2. 寝る場所を探すのに苦労している	6	11.5	19.4
3. 雨や寒さをしのげず困っている	10	19.2	32.3
4. 入浴、洗濯等ができなくて、清潔に保つことができず困っている	7	13.5	22.6
5. ホームレス同士のいざこざで困っている	0	0.0	0.0
6. ホームレス以外の人にいやがらせを受けて困っている	2	3.8	6.5
7. 立ち退くよう言われて困っている	2	3.8	6.5
8. その他	16	30.8	51.6
複数回答の合計数	52	100.0	
有効回答者数	31	96.9	
無回答	1	3.1	
合計	32	100.0	

※ 選択肢1～8の「回答%」は、複数回答の合計数(52)に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数(32)に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数(31)に占める割合

問8で特に困っていることは、「食べ物がないので困っている」と回答した者が4人(25.0%)で最も多く、「寝る場所を探すのに苦労している」、「雨や寒さをしのげず困っている」がそれぞれ3人(18.8%)と続いている。

なお、「その他」では、金銭や病気に関する回答や、「特になし」という趣旨の回答等がある。

(特に困っていること)	人数	回答%	有効%
1. 食べ物がないので困っている	4	12.5	25.0
2. 寝る場所を探すのに苦労している	3	9.4	18.8
3. 雨や寒さをしのげず困っている	3	9.4	18.8
4. 入浴、洗濯等ができなくて、清潔に保つことができず困っている	1	3.1	6.3
5. ホームレス同士のいざこざで困っている	0	0.0	0.0
6. ホームレス以外の人にいやがらせを受けて困っている	1	3.1	6.3
7. 立ち退くよう言われて困っている	0	0.0	0.0
8. その他	4	12.5	25.0
有効回答数	16	50.0	
無回答	16	50.0	
合計	32	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数(32)に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数(16)に占める割合

第3章 夜間調査対象者の路上（野宿）生活までのいきさつ

1. 路上（野宿）生活になった理由

今回の路上生活に至った理由は、「仕事が減った」が9人（28.1%）で最も多く、「倒産や失業」が7人（21.9%）、「人間関係がうまくいなくて、仕事を辞めた」が5人（15.6%）と続いている。

なお、「その他」では、仕事に関する回答等がある。

問17 今回の路上（野宿）生活をするようになった主な理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。新型コロナウイルスの感染拡大の影響によるもの（すべて）は◎をつけてください。

（複数回答）	人数	回答%	ケース%
01. 倒産や失業	7	15.9	21.9
02. 仕事が減った	9	20.5	28.1
03. 病気・けがや高齢で仕事ができなくなった	3	6.8	9.4
04. 労働環境が劣悪なため、仕事を辞めた	2	4.5	6.3
05. 人間関係がうまくいなくて、仕事を辞めた	5	11.4	15.6
06. 01, 02, 03, 04, 05以外の理由で収入が減った	0	0.0	0.0
07. 借金取立により家を出た	0	0.0	0.0
08. アパート等の家賃が払えなくなった	1	2.3	3.1
09. 契約期間満了で宿舎を出た	0	0.0	0.0
10. ホテル代、ドヤ代等が払えなくなった	1	2.3	3.1
11. 差し押さえによって立ち退きさせられた	0	0.0	0.0
12. 病院や施設等から出た後行き先がなかった	0	0.0	0.0
13. 家族との離別・死別	2	4.5	6.3
14. 家庭関係の悪化	2	4.5	6.3
15. 飲酒、ギャンブル	1	2.3	3.1
16. その他	11	25.0	34.4
複数回答の合計数	44	100.0	137.5
有効回答者数	32	100.0	
無回答	0	0.0	
合計	32	100.0	

※ 選択肢1～16の「回答%」は、複数回答の合計数（44）に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数（32）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（32）に占める割合

新型コロナウイルスの感染拡大の影響によるものについては、「仕事が減った」が4人（40.0%）で最も多く、「人間関係がうまくいなくて、仕事を辞めた」が2人（20.0%）と続いている。
 なお、「その他」では、仕事に関する回答等がある。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響によるもの

	人数	回答%	有効%
01. 倒産や失業	1	3.1	10.0
02. 仕事が減った	4	12.5	40.0
03. 病気・けがや高齢で仕事ができなくなった	0	0.0	0.0
04. 労働環境が劣悪なため、仕事を辞めた	0	0.0	0.0
05. 人間関係がうまくいなくて、仕事を辞めた	2	6.3	20.0
06. 01, 02, 03, 04, 05以外の理由で収入が減った	0	0.0	0.0
07. 借金取立により家を出た	0	0.0	0.0
08. アパート等の家賃が払えなくなった	0	0.0	0.0
09. 契約期間満了で宿舎を出た	0	0.0	0.0
10. ホテル代, ドヤ代等が払えなくなった	0	0.0	0.0
11. 差し押さえによって立ち退きさせられた	0	0.0	0.0
12. 病院や施設等から出た後行き先がなかった	0	0.0	0.0
13. 家族との離別・死別	0	0.0	0.0
14. 家庭関係の悪化	0	0.0	0.0
15. 飲酒、ギャンブル	1	3.1	10.0
16. その他	2	6.3	20.0
有効回答数	10	31.3	
無回答	22	68.8	
合計	32	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（32）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（10）に占める割合

第4章 夜間調査対象者の福祉制度

1. 福祉制度の利用状況

巡回相談員に会ったことがある者の合計は23人（71.9%）にのぼるが、このうち、声掛け等を行った巡回相談員に相談したことがある者は6人（18.8%）となっている。

問27 巡回相談員に会ったことはありますか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. 会ったことがあり、相談した	6	18.8
2. 会ったことはあるが、相談したことはない	17	53.1
3. 会ったことはない	9	28.1
有効回答数	32	100.0
無回答	0	0.0
合計	32	100.0

問32 「その他のホームレスに対する公的支援（住宅の斡旋や宿泊事業、健康診断、食糧支給、衣類の支給等）を利用したことがありますか。」について、「ある」と回答した者15人は、全員がTOKYOチャレンジネットは利用したことがないと回答している。

問32-1 問32で「1. ある」と答えた方について、『TOKYOチャレンジネット』を利用したことはありますか。1つ選んでください。（主要駅における夜間調査）

	人数	回答%	有効%
1. ある	0	0.0	0.0
2. ない	15	46.9	100.0
有効回答数	15	46.9	100.0
無回答	3	9.4	
非該当	14	43.8	
合計	32	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（32）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（15）に占める割合

第5章 夜間調査対象者の今後の生活について

1. 今後の生活

今後の望む生活について、「今のままでいい（路上（野宿）生活）」が7人（21.9%）で最も多く、「アパートに住み、就職して自活したい」、「アパートで福祉の支援を受けながら、軽い仕事をみつきたい」がそれぞれ6人（18.8%）と続いている。

なお、「その他」では、「アパートに住みたい」等の回答がある。

問36 今後、どのような生活を望んでいますか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. アパートに住み、就職して自活したい	6	18.8
2. 寮付の仕事で自活したい	1	3.1
3. アパートで福祉の支援を受けながら、軽い仕事をみつきたい	6	18.8
4. 就職することはできないので何らかの福祉（生活保護や施設入所等）を利用して生活したい	3	9.4
5. 入院したい	1	3.1
6. 家族の元に戻りたい	1	3.1
7.今のままでいい（路上（野宿）生活）	7	21.9
8. わからない	2	6.3
9. その他	5	15.6
有効回答数	32	100.0
無回答	0	0.0
合計	32	100.0